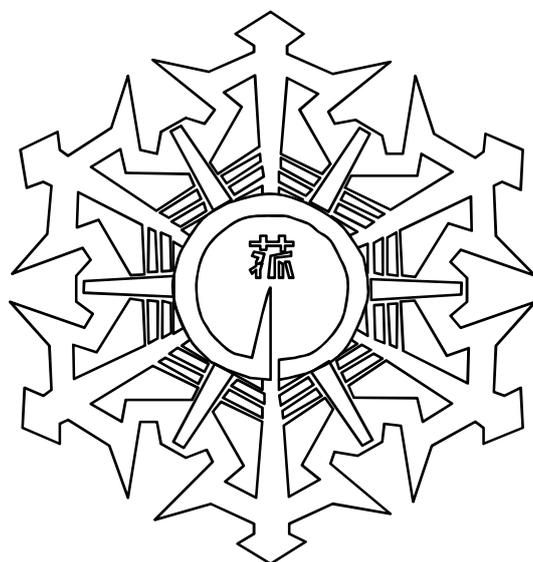


# 消防年報



三重県  
菰野町消防本部  
(平成29年版)

# はじめに

本書は、菰野町における消防情勢と、平成 28 年中における消防諸般の状況を記録し、将来の消防行政運営上の指針とするため編集しました。

なお、統計資料は特に記載のあるものを除き、平成 28 年中をもって表しました。

平成 29 年 8 月

三重県 こものちょう 菰野町消防本部

# 目 次

## 消 防 情 勢

菰野町の概要・位置図	1
菰野消防のあゆみ	2
歴代消防長	5
平成 28 年中の主な行事	6
消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌	7
消防予算	8
一般会計予算に占める消防費の割合	
消防費に対する人口・世帯当り額	
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
職員階級別・所属別配置状況	10
職員階級別勤続年数状況	
職員階級別年齢状況	11
外部研修等派遣状況	12
各種訓練実施状況	13
消防本部（署）庁舎の概要	
通信施設状況	14
現有消防車両	15
消防水利状況	
応急手当普及啓発活動実施状況	16
自主防災組織	17
緊急避難所	18
風水害時における緊急避難所を補完する施設	19
収容避難所	
収容避難所を補完する施設	20

## 消 防 団

菰野町消防団の沿革	21
歴代消防団長（合併以降）	
消防団の機構・団員数	22
年齢別及び階級別消防団員数	23
在職年数別消防団員数	
消防団員報酬	
消防団員各種手当	
消防団員職業別構成表	24
消防団消防車両配置状況	

## 予 防

防火対象物現況	25
用途別建築同意状況	26
工事別建築同意状況	27
過去 5 年間の建築同意状況	
危険物施設現況	28
危険物施設許可認可状況	
各種届出処理状況	29
消防用設備等設置検査実施状況	
広報・啓発活動状況	30

## 火 災

火災発生状況	31
過去 5 年間の火災発生状況	
地区別火災発生状況	32
月別火災発生状況	
曜日別火災発生状況	
時間別火災発生状況	33
火災出場状況	
出場区分詳細	
火災発生状況及び出火原因状況	34
絵で見る火災原因	36

## 救 急・救 助

救急事故発生状況	37
過去5年間の救急事故発生状況	
事故種別救急出場件数・搬送人員	38
現場到着所要時間別救急件数	
収容所要時間別救急搬送人員	
年齢区分別救急搬送人員	39
傷病程度別救急搬送人員	
時間別救急出場件数	
地区別救急出場状況	40
月別救急出場状況	
曜日別救急出場状況	
年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員	41
事故種別・年齢区分別救急搬送人員	
事故種別・傷病程度別救急搬送人員	
事故種別・時間別救急出場件数	42
事故種別・応急処置件数	
事故種別・医療機関別救急搬送人員	43
救助出場状況	44
事故種別出場件数・救助人員	48
事故種別・救助出場人員	
事故種別・救助出場車両	

## 気 象

月別気象状況と火災件数	49
月別気温概況	50
月別降水量概況	
月別湿度概況	51
月別風速概況	
気象通報受信状況	52

# 消防情勢



平成28年4月1日から、菰野町、四日市市及び桑名市は最先端の技術を駆使した高機能指令センターを設置し3消防本部による通信指令業務（119番通報受付、消防車や救急車の出動指令、消防無線統制等）の共同運用を開始しました。

三重北消防指令センター

平成28年4月1日から運用開始  
於：四日市市中消防署中央分署内

## 菰野町の概要・位置図

菰野町は、三重県の北西部に位置し、西は鈴鹿山脈を境に滋賀県と接し、北はいなべ市に、東と南は四日市市に隣接している。

町の約3分の1を占める山岳地帯は、鈴鹿国定公園に指定されており、御在所岳、釈迦ヶ岳、鎌ヶ岳などは、多くのアルピニストに親しまれ、近年では登山ブームにより老若男女を問わず、人気を集めるスポットである。

さらに霊山幽谷に出で湯を持つ湯の山温泉や雄大な眺めとスリルに富んだ御在所ロープウェイ、景勝を織りなす溪谷の数々、緑豊かな丘陵地など、菰野町は鈴鹿国定公園の玄関口としてふさわしい。

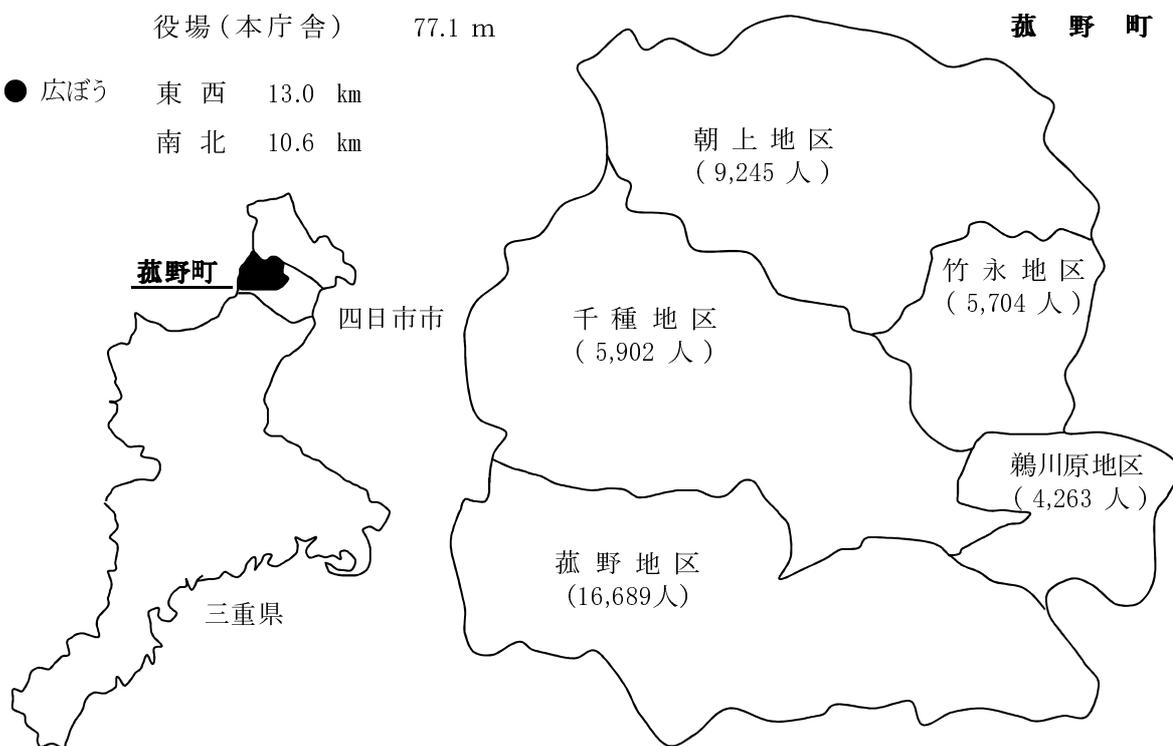
菰野町では、目指すべき将来像を「自然の中に人々が集う、笑顔と活力のまち 菰野」をスローガンに掲げ、町民の安全安心への思いや、絆を大切にしながら、自然との調和を基盤とした町づくりを推進している。

● 位置 / 北緯 35° 01' 43" (世界測地) ● 人口 / 41,803 人  
東経 136° 30' 25" (平成29.3.31現在)

● 面積 / 107.28 km<sup>2</sup> ● 世帯数 / 16,089 世帯  
(平成29.3.31現在)

● 海拔 / 御在所岳 1,212 m (最高地)  
役場(本庁舎) 77.1 m

● 広ぼう 東西 13.0 km  
南北 10.6 km



## 菰野消防のあゆみ

### 昭和58年(1983)

9. 30 町議会に常備消防特別委員会設置。

### 昭和59年(1984)

3. 5 自治省消防庁より昭和59年度における消防本部及び消防署義務設置町村政令指定(内定)を受ける。
7. 19 消防庁舎建設工事着工。
8. 24 日本消防協会より救急車(2B型)の寄贈を受ける。
10. 21 役場庁舎において救急業務開始。(総務課消防防災係16名)

### 昭和60年(1985)

1. 31 消防庁舎完成。(コミュニティ防災センターを併設)
2. 14 消防庁舎において試行業務開始。
- ※ 4. 1 **菰野町消防本部・消防署発足。**  
消防本部に消防課、予防課を置き、消防署に警防課を置く。  
定数31名 車両5台
4. 2 消防庁舎竣工式及び開署式。

### 昭和61年(1986)

3. 25 ポンプ車(CD-I型)購入。
11. 19 普通貨物自動車購入。

### 昭和62年(1987)

2. 26 はしご車(30m級)購入。
10. 14 (社)日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受ける。
10. 28 広報車購入。

### 昭和63年(1988)

4. 12 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 21 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
7. 27 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 19 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

### 平成元年(1989)

1. 24 救急車(2B型)購入。
4. 18 菰野ライオンズクラブより広報車の寄贈を受ける。

### 平成2年(1990)

8. 2 消防救助技術東海地区指導会水上の部(溺者救助)にて入賞。
8. 24 全国消防救助技術大会水上の部(溺者救助)にて入賞。

### 平成4年(1992)

4. 10 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
4. 23 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成5年(1993)

12. 24 訓練塔敷地造成工事開始。

平成6年(1994)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数33名）
- 4. 8 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 27 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成7年(1995)

- 2. 16 水槽付ポンプ車（水－I A型）購入。
- 3. 18 訓練塔竣工式。
- 12. 22 消毒室完成。

平成8年(1996)

- 3. 18 （社）日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈を受ける。
- 4. 22 緊急消防援助隊旗の伝達を受ける。
- 12. 13 指令車購入。
- 12. 20 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数40名）

平成9年(1997)

- 4. 1 菰野町防災行政無線による広報を開始。
- 5. 15 救急救命士が誕生。

平成10年(1998)

- 2. 4 ポンプ車（C D－I型）購入。
- 4. 1 救急救命士業務の運用を開始。
- 10. 15 携帯電話による119番通報受信業務を開始。
- 11. 24 積載車購入。

平成11年(1999)

- 1. 21 広報車購入。
- 6. 2 救急救命士24時間体制開始。
- 7. 27 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8. 19 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）に出場。

平成12年(2000)

- 4. 14 三重県消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 4. 20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。

平成13年(2001)

- 3. 7 高規格救急車購入。
- 3. 10 新通信指令室の運用を開始。

平成14年(2002)

- 4. 1 消防吏員服制規則改正。

平成15年(2003)

- 8. 27 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 6 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成16年(2004)

- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。(3年間)
- 9. 3~4 三重県緊急消防援助隊野営訓練及び合同訓練を菰野町で実施。

平成17年(2005)

- 8. 3 救急救命士1名が気管内挿管講習及び実習修了。
- 8. 8 携帯119番直接受信開始。
- 10. 1 三重県内消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結。

平成18年(2006)

- 2. 22 高規格救急車購入。
- 7. 13 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。

平成19年(2007)

- 1. 30 水槽付ポンプ車(水-I A型)購入。
- 7. 25 消防救助技術東海地区指導会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。
- 8. 22 全国消防救助技術大会陸上の部(ロープブリッジ渡過)にて入賞。

平成20年(2008)

- 3. 9 救急救命士3名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 3. 14 救助工作車(II型)購入。
- 4. 11 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 17 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 28 全国優良消防職員表彰受賞。
- 12. 12 指揮車購入。

平成21年(2009)

- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。(3年間)
- 6. 25 救急救命士1名が薬剤投与追加講習及び実習修了。
- 8. 1 Eメール119番通報の運用開始。
- 11. 30 耐震性貯水槽第1号が完成。

平成22年(2010)

- 4. 9 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4. 16 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 12. 2 高規格救急車購入。

平成23年(2011)

- 4. 27 火災時における消防活動業務の協力に関する協定を締結。

平成24年(2012)

- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数46名）
- 4. 1 三重県消防学校教官として職員1名を派遣。（3年間）
- 4.13 三重県消防職員意見発表会にて最優秀賞を獲得。
- 4.20 東海支部消防職員意見発表会にて優秀賞を獲得。
- 8. 1 位置情報通知システム（統合型）導入。
- 12.27 広報車購入。

平成25年(2013)

- 8.21 全国優良消防職員表彰受賞。
- 11.18 救急医療功労者知事表彰受賞。

平成26年(2014)

- 3.24 はしご車（先端屈折式 30m級）購入。
- 12. 5 ポンプ車（CD-I型CAFS付）購入。

平成27年(2015)

- 1.31 資機材搬送車購入。
- 4. 1 救命サポート事業開始。
- 4. 1 菰野町職員定数条例（消防職員）改正。（定数58名）
- 8.26 消防支援隊発足。（35名）
- 11.26 高規格救急車購入。

平成28年(2016)

- 4. 1 三重北消防指令センター運用開始。
- 4. 1 三重県防災航空隊へ職員1名を派遣。（3年間）
- 7.26 消防救助技術東海地区指導会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。
- 8.24 全国消防救助技術大会陸上の部（ロープブリッジ渡過）にて入賞。

## 歴代消防長

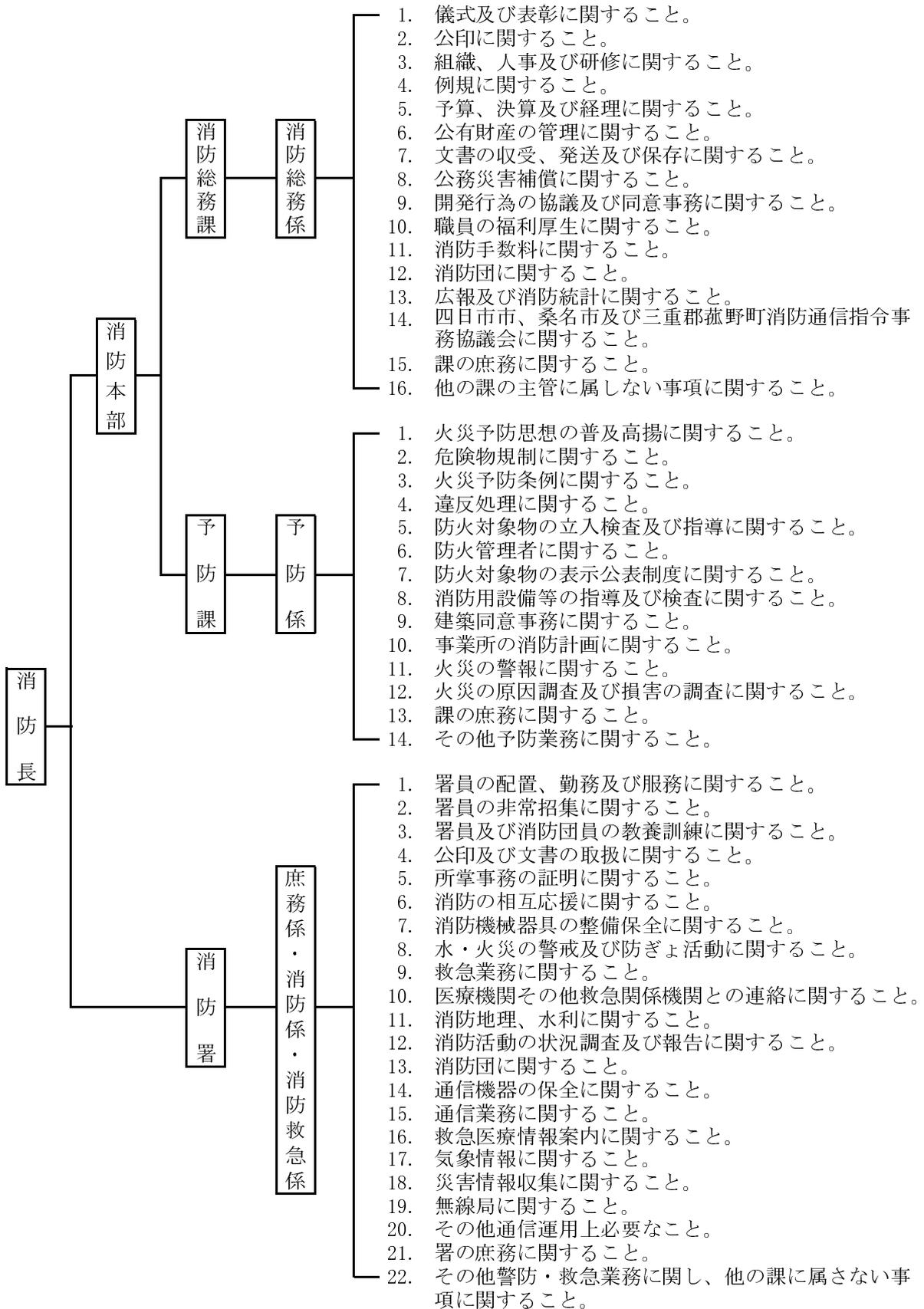
初代	大倉 二郎	自	昭和60年 4月 1日	至	昭和61年 3月31日
二代	田邊 正男	自	昭和61年 4月 1日	至	平成 3年 3月31日
三代	藤田 徹	自	平成 3年 4月 1日	至	平成 7年 3月31日
四代	石原 俊秀	自	平成 7年 4月 1日	至	平成11年 3月31日
五代	内田 芳隆	自	平成11年 4月 1日	至	平成13年 3月31日
六代	金津 正義	自	平成13年 4月 1日	至	平成16年 3月31日
七代	秦 隆	自	平成16年 4月 1日	至	平成18年 4月27日
八代	増田 幸生	自	平成18年 5月 1日	至	平成19年 3月31日
九代	川嶋 正典	自	平成19年 4月 1日	至	平成21年 3月31日
十代	内田 眞伸	自	平成21年 4月 1日	至	平成25年 3月31日
十一代	白木 康裕	自	平成25年 4月 1日	現	職

## 平成28年中の主な行事

- |               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 1. 17         | 消防出初式〔保健福祉センター「けやき」北駐車場〕              |
| 2. 25         | 春の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔和光純薬工業株式会社三重工場〕     |
| 2. 28         | 防火広報〔町内一円〕                            |
| 3. 1～3. 7     | 春の火災予防運動                              |
| 4. 2          | 三重北消防指令センター開所式                        |
| 4. 3          | 消防辞令交付式〔農村センター体育館〕                    |
| 5. 19         | 菰野町防火協会理事会総会〔農村センター研修室〕               |
| 5. 31         | 菰野町水防訓練〔菰野町役場南 三滝川河川敷〕                |
| 6. 1          | 危険物安全週間に伴う特別消防訓練〔株式会社東研サーモテック 三重工場〕   |
| 6. 5～6. 11    | 危険物安全週間                               |
| 6. 26         | 菰野町消防団消防操法大会〔菰野町役場北駐車場〕               |
| 7. 26         | 消防救助技術東海地区指導会〔三重県消防学校〕                |
| 8. 24         | 全国消防救助技術大会〔愛媛県松山市〕                    |
| 8. 28         | 菰野町総合防災訓練〔町内一円〕                       |
| 8. 30～9. 5    | 防災週間                                  |
| 9. 1          | 防災週間に伴う特別消防訓練〔湯の山温泉湯元グリーンホテル〕         |
| 9. 4～9. 10    | 救急医療週間                                |
| 9. 25         | 消防自動車写生大会〔消防本部〕                       |
| 10. 26        | 三重県消防職員警防技術交換会〔三重県消防学校〕               |
| 11. 9～11. 15  | 秋の火災予防運動                              |
| 11. 11        | 集団救急救護訓練〔消防本部〕                        |
| 11. 13        | 秋の火災予防運動に伴う特別消防訓練〔株式会社東洋テックス本社工場付近林野〕 |
| 12. 28～12. 31 | 年末特別警戒〔町内一円〕                          |

# 消防本部・消防署の組織・機構及び事務分掌

平成29. 4. 1現在



## 消防予算(当初額)

(千円)

年度	区分	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	合計
平成25年度		401,645	39,242	189,765	232	630,884
平成26年度		420,660	41,595	94,947	65	557,267
平成27年度		444,465	42,957	259,525	65	747,012
平成28年度		470,568	39,298	47,989	50	557,905
平成29年度		491,685	43,527	57,285	50	592,547

## 一般会計予算に占める消防費の割合(当初額)

年度	区分	一般会計予算 (千円)	消防予算 (千円)	比率(%)
平成25年度		11,100,000	630,884	5.7
平成26年度		11,344,000	557,267	4.9
平成27年度		12,210,000	747,012	6.1
平成28年度		13,860,000	557,905	4.0
平成29年度		13,220,000	592,547	4.5

## 消防費に対する人口・世帯当り額

年度	区分	人口(人)	世帯(戸)	消防費(千円)	人口1人当りの 消防費(千円)	1世帯当りの消防 費(千円)
平成25年度		41,311	15,237	630,884	15	41
平成26年度		41,329	15,387	557,267	13	36
平成27年度		41,419	15,636	747,012	18	48
平成28年度		41,540	15,828	557,905	13	35
平成29年度		41,803	16,089	592,547	14	37

## 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(台)

車 両	消防力の整備指針による基準車両	基準数	現 有 車 両	現有数	比 較
	消 防 ポンプ自動車	2	水槽付消防ポンプ自動車 消 防 ポンプ自動車	2	0
	はしご付き消防自動車	1	はしご付き消防自動車	1	0
	化 学 消 防 自 動 車	1		0	△ 1
	救 急 自 動 車	3	高規格救急自動車(1) 高規格救急自動車(2)	2	△ 1
	救 助 工 作 車	1	救 助 工 作 車	1	0
	指 揮 車	1	指 揮 車	1	0
	計	9	計	7	△ 2

(人)

人 員	消防力の整備指針による区分別算定		基準数	現有数	比 較	
	警 防 要 員	消防ポンプ自動車(1)	5人×3部制=15人	60	36	△ 24
		消防ポンプ自動車(2)	4人×3部制=12人			
		救 助 工 作 車	5人×3部制=15人			
		救 急 自 動 車 (1)	3人×3部制= 9人			
		指 揮 車	3人×3部制= 9人			
		救 急 自 動 車 (2)	( 兼 務 運 用 )			
		はしご付き消防自動車	( 乗 換 運 用 )			
		化学消防自動車【未配備】				
	通 信 員		3	3	0	
	予 防 要 員		5	5	0	
そ の 他 の 人 員		7	7	0		
合 計			75	51	△ 24	

平成29.4.1現在

## 職員階級別・所属別配置状況

平成29. 4. 1現在

所属	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
消防総務課		1	1	4	2		2	10
予防課			1	2	1	1		5
消防署			3	15	1	9	8	36
合計		1	5	21	4	10	10	51

## 職員階級別勤続年数状況

平成29. 4. 1現在

勤続年数	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満							2	2
1年							3	3
2年							2	2
3年							1	1
4年						2	1	3
5年								
6年						2		2
7年						1		1
8年						1	1	2
9年						1		1
10年						1		1
11年						1		1
12年								
13年					1	1		2
14年								
15年					1			1
16年				2	1			3
17年								
18年				1	1			2
19年				2				2
20年				3				3
21年								
22年								
23年				5				5
24年				1				1
25年				1				1
26年								
27年				1				1
28年								
29年			1	1				2
30年								
31年								
32年		1	4	4				9
合計		1	5	21	4	10	10	51

# 職員階級別年齢状況

平成29. 4. 1現在

年 齢	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消 防 副士長	消防士	合 計
18歳							
19歳						1	1
20歳							
21歳						1	1
22歳						3	3
23歳						1	1
24歳							
25歳						2	2
26歳						2	2
27歳					1		1
28歳					3		3
29歳					1		1
30歳					3		3
31歳					2		2
32歳							
33歳							
34歳				1			1
35歳				2			2
36歳				1			1
37歳							
38歳			1				1
39歳			1				1
40歳			1				1
41歳			3				3
42歳			2				2
43歳			1				1
44歳			2				2
45歳			2				2
46歳							
47歳			2				2
48歳			1				1
49歳							
50歳							
51歳							
52歳		2	4				6
53歳							
54歳							
55歳							
56歳		2	1				3
57歳							
58歳							
59歳	1	1					2
合 計	1	5	21	4	10	10	51

平均年齢 38.2 歳

# 外部研修等派遣状況

平成28年度

派遣先	区分	科 目	期 間	人 員
東京研修所		救急救命東京研修所（第51期）	28. 9. 1～29. 3. 13	1
消防大学校		警防科（第100期）	28. 10. 19～28. 12. 8	1
		自主防災組織育成コース（第12回）	28. 5. 23～28. 5. 27	1
三重県消防学校		初任科（第53期）救急科救急課程（第19期）	28. 4. 6～28. 12. 6	3
		救助科 救助課程（第26期）	28. 9. 12～28. 10. 14	1
		特別科 指揮課程（第4期）	28. 12. 12～28. 12. 16	2
		特別科 はしご自動車講習（第22期）	28. 12. 19～28. 12. 22	1
		予防査察科 予防査察課程（第7期）	29. 1. 30～29. 2. 10	1
		警防科 警防課程（第28期）	29. 2. 27～29. 3. 10	1
救 急		日本臨床救急医学会	28. 5. 12～28. 5. 14	1
		I S L S プロバイダーコース（神経救急蘇生研修）	28. 5. 15	1
		I C L S（心肺蘇生二次救命処置研修）	28. 6. 5	1
		J P T E C プロバイダー更新コース	28. 7. 23	1
		J P T E C プロバイダーコース（外傷病院前救護研修）	28. 7. 23	2
		M C L S（多数傷病者対応研修）	28. 8. 27	1
		メディカルラリー（第2回）	28. 10. 9	1
		救急コ・メディカルセミナー	28. 10. 12	3
		三重県臨床工学セミナー（初級心電図）	28. 10. 23	1
		新生児蘇生法講習会（Bコース）	28. 11. 25	6
		P S L S（脳卒中病院前救護研修）	29. 1. 13	2
		全国救急隊員シンポジウム	29. 1. 26～29. 1. 27	1
		12誘導心電図セミナー	29. 1. 28	1
		救急救命士業務実地修練	29. 2. 5～29. 2. 10	1
		B L Sヘルスケア（心肺蘇生一次救命処置研修）	29. 3. 18	1
救 助		アリゾナボータックスフレーム講習	28. 6. 29～28. 6. 30	2
		アドバンスドロープレスキュー I	28. 11. 6	2
		第19回全国消防救助シンポジウム	28. 12. 5	1
予 防		調査技術会議	28. 6. 17	1
		違反是正研修会	28. 8. 18	2
		火災調査研究発表会	28. 10. 13	1
		消防法令違反是正事例研究会	28. 10. 25	2
		製品安全業務報告会	28. 11. 11	1
		消防設備等保守点検業務研修会	28. 11. 16	1
		高压ガス講習会	28. 11. 21	1
		東海地区消防機関事故原因究明技術研修会	28. 12. 9	1
		消防法令違反是正研究会	29. 1. 29	1
	企業防災対策指導研修会	29. 2. 19	1	
そ の 他		三重県防災通信ネットワーク	28. 4. 26	2
		大型自動車免許取得（普通免許所持）	28. 5. 11～28. 8. 2	1
		大型自動車免許取得（中型免許所持）	28. 5. 11～28. 8. 9	1
		酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	28. 9. 14～28. 9. 16	1
		糸魚川大火現地踏査研修	29. 1. 25～29. 1. 26	2
		消防自動車機械整備実地修練研修（モリタテクノス）	29. 3. 23	5

## 各種訓練実施状況

平成28年度

内容	区分	延 時 間	延 人 数	回 数
消 防 操 法		12	22	4
法 学 一 般		23	19	4
地 理 及 び 水 利		38	98	32
火 災 予 防		117	227	69
勤 務 要 綱		40	100	24
消 防 行 動		34	163	29
消 防 戦 術		258	549	138
消 防 機 械		352	1,049	241
実 施 訓 練		1,115	3,425	597
訓 練 礼 式		31	180	11
救 急 学		1,189	1,157	342
体 育		56	2,386	308

## 消防本部(署)庁舎の概要

平成29. 4. 1現在

所在地	三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地 (敷地面積：6226.17㎡)				
区 分	庁 舎	仮設庁舎	訓 練 棟		
	消防署	消防本部	主 塔	副 塔	倉 庫 棟
建設年	昭和60年竣工	平成26年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工	平成7年竣工
構造	RC2階建	鉄骨2階建	RC4階建	鉄骨3階建	鉄骨2階建
建築面積	537.7㎡	114.4㎡	39.4㎡	38.6㎡	87.6㎡
延床面積	858.4㎡	226.8㎡	129.6㎡	94.3㎡	175.2㎡
1 F	528.1㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
2 F	309.3㎡	113.4㎡	32.4㎡	32.7㎡	87.6㎡
3 F	(P.H) 21.0㎡		32.4㎡	28.9㎡	
4 F			32.4㎡		

# 通信施設状況

平成29. 4. 1現在

	種類	数量	備考
菺野町消防本部・消防署	車載移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	携帯移動無線局 (デジタルタ)	15局	菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防団車載移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波2・消防団波
	消防団携帯移動無線局 (デジタルタ)	11局	菺野波2・消防団波
	半固定無線局 (デジタルタ)	4局	こもの200【卓上型】 こもの201【可搬型】 こもの202【卓上型】 こもの203【卓上型】 役場災害対策室設置 菺野波1~2・四日市波1~4・桑名波1~3・統制波1~3 主運用波・消防団波 ※広域応援用：主運用波1~6
	消防救急デジタル無線基地局 (活動波)	1局	活動波：みえきたしれいこもの(菺野波1~2) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県消防救急デジタル無線基地局 共通波(菺野中継所)	1局	みえきょうつうこもの(主運用波・統制波1~3) 【通信所】こものしょうぼう
	三重県防災行政無線局	3局	衛星局・地上局・可搬型衛星地球局
	携帯移動無線局 (署活動用携帯型)	33局	こもの310~339・こもの300~302 署活1~2・消防団波
	デジタル簡易無線局 (携帯型)	15台	
	車両運用端末装置Ⅲ型 (AVM)	11台	ドコモFOMA回線
	救急医療情報システム災害時優先電話	1台	携帯電話
	救急医療情報システム端末	1回線	
	F A X	1回線 2ch	一般用・福祉用
	A S Kメール発信システム	1式	「菺野町行政情報メール」と連動
	指令センター用内線電話機	1回線	三重北消防指令センター連絡用
	駆付け通報装置	1回線	三重北消防指令センターへ直接通報用(玄関前に設置)
	一般加入電話	2回線 4ch	
	救急車積載携帯電話	6台	
	衛星携帯電話	2台	
携帯電話	2台	本部1・署1	
三重北消防指令センター	報知電話(119)	7回線 14ch	固定電話・携帯電話・IP電話
	順次指令装置	6回線 12ch	指令台連動
	消防テレフォンガイド	1回線 2ch	指令台連動 NTTテレトキーにより同時に5回線受信可能
	F A X 1 1 9	1台	
	指令メール	1式	火災指令メール
	Eメール119受信装置	2台	

※三重北消防指令センターは菺野町消防本部、四日市市消防本部、桑名市消防本部が消防通信指令事務を共同運用しています。

## 現有消防車両

平成29. 4. 1現在

車種	区分	車名	規格等	登録番号	登録年月日	排気量(cc)	車両重量(kg)
はしご車		日野	30m級	三重800は1877	H26. 3. 19	8,860	18,790
救助工作車		日野	II型	三重800は1347	H20. 3. 13	7,680	11,140
水槽付ポンプ車		日野	水-IA型	三重800は1184	H19. 1. 29	6,400	7,560
ポンプ車		日野	CD-I型 (CAFS付)	三重800せ 6	H26. 12. 4	4,000	5,880
救急1号車		日産	高規格	三重830せ1511	H27. 11. 17	3,490	2,880
救急2号車		日産	高規格	三重800す7167	H22. 12. 2	3,490	2,850
救急予備車		日産	高規格	三重800す2244	H18. 2. 20	3,490	2,900
査察車		トヨタ	ワゴン	三重800す5463	H20. 12. 11	1,980	1,660
広報車		トヨタ	ワゴン	三重800す8616	H24. 12. 27	2,690	2,120
資機材搬送車		いすゞ	2t積	三重800せ 127	H27. 1. 29	2,990	2,740

## 消防水利状況

平成29. 4. 1現在

水利		地区					
		菰野	鶉川原	竹永	朝上	千種	合計
消火栓	管径 50 mm 以下	5		1		2	8
	管径 75 mm	172	81	98	122	111	584
	管径 100 mm	149	44	37	104	75	409
	管径 150 mm 以上	159	62	36	85	82	424
	合計	485	187	172	311	270	1,425
防火水槽	容量 20 m <sup>3</sup> 未満	2		2	7	2	13
	容量 20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	22	3	7	13	4	49
	容量 40 m <sup>3</sup> 以上	4	2	1	5	8	20
	耐震性貯水槽 40 m <sup>3</sup>	7	1	1	2	2	13
	耐震性貯水槽 100 m <sup>3</sup>	1	1	1	1	1	5
	プー ル	4	1	1	2	1	9
	合計	40	8	13	30	18	109
自然水利	河川	53	12	11	75	52	203
	池	10	2	3	22	12	49
	合計	63	14	14	97	64	252

## 応急手当普及啓発活動実施状況

菰野町消防本部では平成7年度から応急手当の普及啓発活動実施要綱に基づく普及活動を実施しており、止血法や固定法などを学ぶ救急講習、心肺蘇生法とAEDの取り扱い方法を学ぶ普通救命講習、各区や事業所などで普通救命講習を開催できる指導者を養成する応急手当普及員講習などを開催しています。

	救急講習		普通救命講習		応急手当普及員講習	
	回数	受講者数	回数	修了者数	回数	修了者数
平成7年度	10	351	5	93		
平成8年度	16	330	7	78		
平成9年度	18	384	10	130		
平成10年度	12	310	8	90		
平成11年度	14	942	8	142		
平成12年度	14	382	11	206		
平成13年度	9	257	13	151		
平成14年度	9	396	24	408		
平成15年度	14	592	13	197		
平成16年度	17	828	16	263		
平成17年度	9	1,094	33	480	1	12
平成18年度	15	734	59	840	5	60
平成19年度	16	461	60	989	3	57
平成20年度	4	226	71	1,013	4	72
平成21年度	11	262	44	592	3	45
平成22年度	7	302	35	512	2	38
平成23年度	9	319	45	699		
平成24年度	11	468	39	628	2	26
平成25年度	6	276	37	571	1	29
平成26年度	17	459	45	564	3	28
平成27年度	21	526	47	636	3	42
平成28年度	12	427	42	555	3	19
合計	271	10,326	672	9,837	30	428

# 自主防災組織

平成29. 4. 1現在

(1) 婦 人 消 防 隊	{	菰野地区婦人消防隊 (昭和43年4月21日結成 377人)
		鶉川原地区婦人消防隊 (昭和40年3月20日結成 75人)
		竹永地区婦人消防隊 (昭和58年6月1日結成 69人)
		朝上地区婦人消防隊 (昭和42年4月1日結成 161人)
		千種地区婦人消防隊 (昭和57年4月21日結成 121人)
合計 5 隊 総員 803 人		

## (2) 自 警 団

合計 32 団 総員 700 人

菰 野 地 区	{	神 明 区 ( 16 人 )
		菰 野 第 一 区 ( 37 人 )
		菰 野 第 三 区 ( 134 人 )
		宿 野 区 ( 18 人 )
		福 村 区 ( 40 人 )
		神 森 区 ( 14 人 )
計 6 団 総員 259 人		

鶉 川 原 地 区	{	大 強 原 区 ( 16 人 )
		下 村 区 ( 15 人 )
		川 北 区 ( 15 人 )
		池 底 区 ( 12 人 )
		吉 沢 区 ( 10 人 )
		諏 訪 区 ( 9 人 )
計 6 団 総員 77 人		

竹 永 地 区	{	竹 成 区 ( 11 人 )
		永 井 区 ( 35 人 )
計 2 団 総員 46 人		

朝 上 地 区	{	榊 園 区 ( 13 人 )
		松 涛 園 区 ( 12 人 )
		小 島 区 ( 20 人 )
		田 口 新 田 区 ( 14 人 )
		美 山 区 ( 26 人 )
		田 口 区 ( 9 人 )
		日 丘 区 ( 15 人 )
		切 畑 区 ( 4 人 )
		一 本 木 団 地 ( 10 人 )
		青 葉 台 区 ( 9 人 )
計 10 団 総員 132 人		

千 種 地 区	{	千 草 区 ( 23 人 )
		音 羽 区 ( 12 人 )
		潤 田 区 ( 34 人 )
		三 滝 園 区 ( 39 人 )
		岡 区 ( 13 人 )
		福 松 区 ( 18 人 )
		奥 郷 区 ( 10 人 )
		江 野 区 ( 37 人 )
計 8 団 総員 186 人		

# 緊急避難所

平成29. 4. 1現在

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
神明	グリーンホテル	大字千草7054-173	059-392-3111	40
	神明区公会所	大字菰野8475-22	059-392-2436	32
大羽根園	大羽根園自治会公会所	大羽根園並木通4	059-394-1884	62
菰野第一区	菰野第一区第一公会所	大字菰野9007	059-393-2116	29
菰野第二区	菰野第二区公民館	大字菰野2203-1	059-394-0940	80
菰野第三区	南部公民館	大字福村148	059-393-1991	128
	第三区民栄会館	大字菰野1419-8	059-394-0986	25
	川原町集会所	大字菰野1778		18
宿野	宿野公会所	大字宿野230-1	059-394-0913	65
福村	福村公会所	大字福村272	059-394-2744	56
神森	神森集落センター	大字神森705	059-394-1984	33
大強原	大強原公会所	大字大強原3482-1	059-394-6237	47
下村	下村公会所	大字下村2166-3		48
川北	川北公会所	大字川北563	059-393-2074	81
池底	池底集落センター	大字池底1152	059-394-1127	41
吉沢	吉沢集落センター	大字吉沢1792-2	059-394-1269	44
諏訪	諏訪公会所	大字諏訪3822	059-394-2904	63
竹成	竹成区公会堂	大字竹成2116	059-396-1880	84
永井	永井集落センター	大字永井3832	059-396-1707	34
田光	田光公会堂	大字田光2066	059-396-0127	90
杉谷	杉谷公会所	大字杉谷2580	059-396-2319	66
榑	榑公会所	大字榑303		16
松涛園	松涛園公会所	大字小島417-185		36
小島	小島集落センター	大字小島1687-1	059-396-4118	33
田口新田	田口新田公会所	大字田口新田2256		42
美山	美山区公会所	大字田口新田232-32		13
田口	田口公会所	大字田口2493		56
日丘	日丘区公会所	大字田口新田117-66		16
切畑	切畑公会所	大字切畑578-8		12
根の平	根の平公会所	大字根の平114-1		10
一本木団地	一本木公会所	大字榑895-44		24

区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
青葉台	青葉台公会所	大字杉谷1572-187		39
千草	千草公会所	大字千草2763	059-394-6280	50
	千草区区民センター	大字千草2510		26
音羽	音羽公会所	大字音羽585-1		31
潤田	潤田集落研修センター	大字潤田499		79
三滝園	三滝園公会所	大字潤田650-177		26
	岡公民館	大字千草4127-10		56
福松	福松構造改善センター	大字千草5364-16	059-394-5194	42
奥郷	奥郷構造改善センター	大字千草6368-2	059-394-3773	43
江野	江野区公会所	大字千草7045-897	059-392-2105	37

緊急避難所…有効スペース3㎡×1人

## 風水害時における緊急避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野地区 コミュニティーセンター	大字菰野1418	059-394-5333	21
朝上地区	朝上地区 コミュニティーセンター	大字田光4291	059-396-0001	22
千種地区	農村環境改善センター	大字潤田4418	059-394-3444	17

有効スペース(和室) 3㎡×1人

◎緊急避難所を補完する施設とは、緊急避難所で受け入れ出来ない避難者及びキャンプ場宿泊者を受け入れる場合に利用する。

## 収容避難所

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野町B & G海洋センター	大字菰野4775-1	059-394-3177	381
	菰野小学校	大字菰野1490	059-393-2006	288
	菰野中学校	大字菰野1192	059-393-2122	357
	菰野高等学校	大字福村870	059-393-1131	382
鵜川原地区	鵜川原小学校	大字大強原913	059-393-2118	183
竹永地区	竹永小学校	大字竹成2593-5	059-396-0009	198
朝上地区	朝上小学校	大字田光66	059-396-0004	294
	八風中学校	大字田光3808-18	059-396-0012	338
千種地区	千種小学校	大字千草3861	059-394-2590	333

収容避難所…体育館等3㎡×1人

## 収容避難所を補完する施設

地区名	名称	所在地	電話番号	収容人数
菰野地区	菰野保育園	大字菰野2098	059-393-2135	27
	菰野西保育園	大字菰野8870	059-394-0884	54
	菰野幼稚園・菰野東保育園	大字菰野1485	059-393-1179	78
鵜川原地区	鵜川原幼稚園・鵜川原保育園	大字大強原829-1	059-393-2405	38
竹永地区	竹永幼稚園・竹永保育園	大字永井59	059-396-0527	56
朝上地区	朝上幼稚園・朝上保育園	大字田光3306-2	059-396-0114	44
千種地区	千種幼稚園・千種保育園	大字音羽2240	059-393-2406	58

◎収容避難所を補完する施設とは、収容避難所の収容能力を超える被災者を受け入れる場合に利用する隣接の保育園・幼稚園で、収容人数は、ホール3㎡×1人。

# 消防団



この大会は消防団員としての消火活動時における基本動作の技術習得を目的として安全性確実性迅速性の観点から優劣を競うものです。町内の消防団員がこの日まで積み重ねてきた訓練の成果を存分に発揮しました。

消防団操法大会

平成28年6月26日

於：菰野町役場北駐車場

## 消防団

消防団は郷土愛の精神に基づき、地域に密着した防災活動機関として地震・風水害・火災等の災害時には町民の生命財産の保護等消防防災活動に当たるとともに、平常時には、火災予防広報・防災指導等に従事し、地域防災上重要な役割をはたしています。

平成28年中における主な活動は、火災出動14回、延べ出動人員481人。その他、出初式・各種訓練・警戒・警備等に出動し活躍しています。

## 菰野町消防団の沿革

明治27年	消防制度が統一され、当時の菰野村、鶴川原村、竹永村、朝上村、千種村の5村に消防組が組織される。
昭和 3年	町制施行により菰野村が菰野町となる。
昭和14年	警察消防体制の確立により5町村の消防組が警防団に改められる。
昭和23年	消防組織法の施行により5町村の警防団が消防団として組織される。
昭和30年 4月	町村合併促進法の制定により朝上村と千種村が合併し、朝明村となり朝明村消防団が組織される。
昭和31年 9月	菰野町と鶴川原村、竹永村が合併し菰野町となり、菰野町消防団、朝明村消防団の2団となる。
昭和32年 1月	菰野町と朝明村が合併し菰野町となり、同時に菰野町消防団（団員数 159名）に統一、菰野分団、鶴川原分団、竹永分団、朝上分団、千種分団の5分団で組織される。
昭和41年 7月	湯の山地区自警団が湯の山分団となり、全6分団となる。
昭和43年 1月	菰野町役場に本部班が設置される。
昭和58年 4月	本部班が本部分団となり、全7分団となる。
昭和58年 7月	三重県消防操法大会に本部分団が出場し、優勝する。
昭和59年 7月	三重県消防操法大会に朝上分団が出場し、優勝する。
平成 2年10月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、優良賞を獲得する。
平成 6年10月	全国消防操法大会に菰野分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成 9年 2月	第49回日本消防協会定例表彰式において特別表彰「まとい」を受章する。
平成 9年 8月	三重県消防操法大会に鶴川原分団が出場し、敢闘賞を獲得する。
平成18年 7月	三重県消防操法大会に竹永分団が出場し、準優勝する。
平成26年11月	全国消防操法大会に朝上分団が出場し、敢闘賞を獲得する。

## 歴代消防団長(合併以降)

初代	服部 幸太郎	自	昭和32年 1月15日	至	昭和52年 4月 1日
二代	伊藤 正一	自	昭和52年 6月15日	至	昭和55年12月31日
三代	谷 善一	自	昭和56年 1月 1日	至	昭和58年12月31日
四代	辻 収	自	昭和59年 1月 1日	至	平成 7年 2月28日
五代	白木 一	自	平成 7年 3月 1日	至	平成17年 3月31日
六代	小林 幸治	自	平成17年 4月 1日	至	平成29年 3月31日
七代	増田 富雄	自	平成29年 4月 1日	現職	

# 消防団の機構・団員数

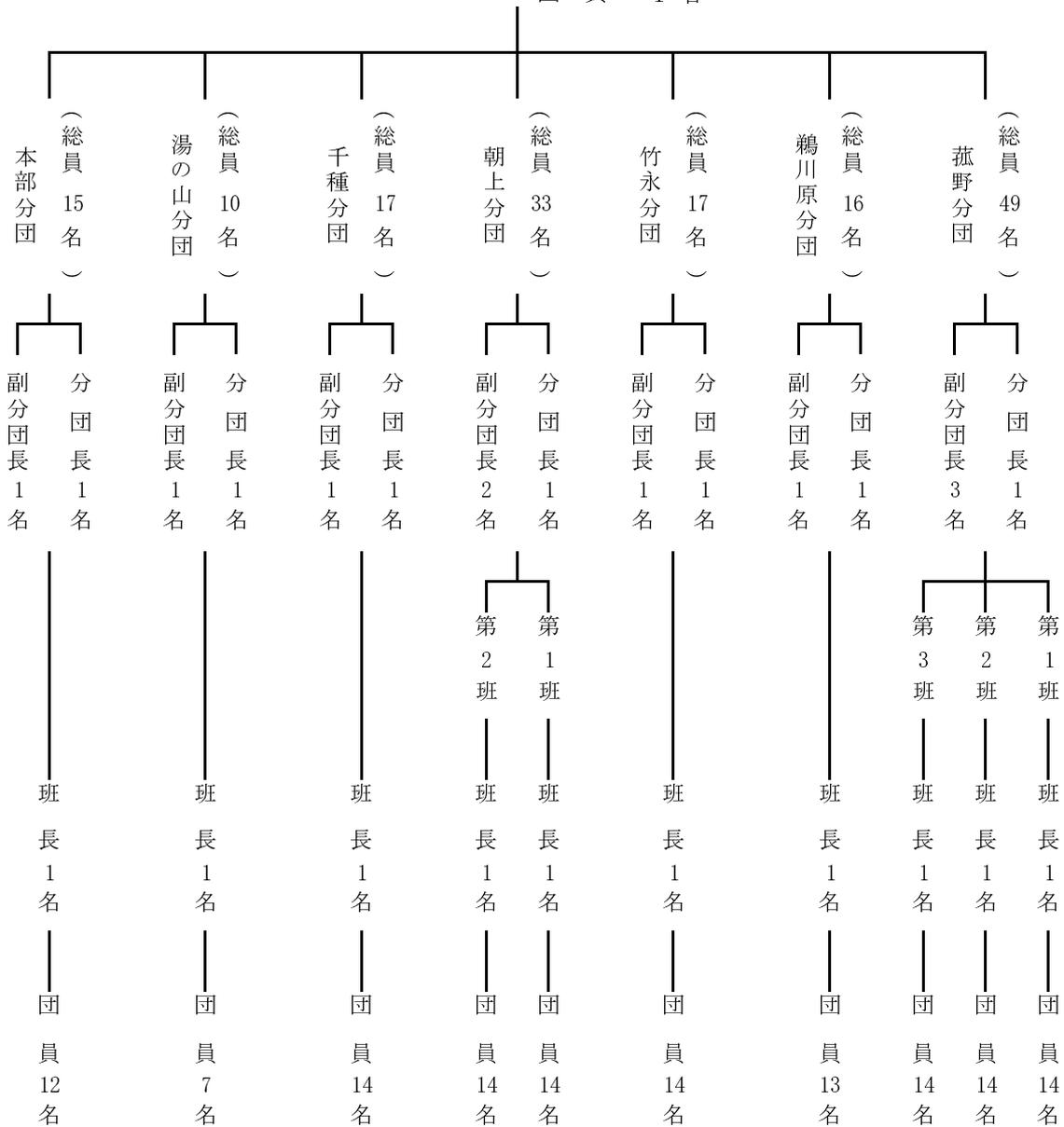
平成29. 4. 1現在

菰野町消防団 分団数 7分団 (10班)  
 団員定数 168名  
 現有団員数 161名

## 菰野町消防団

( 総員 161 名 )

消防団本部  
 団長 1名  
 副団長 2名  
 団員 1名



## 年齢別及び階級別消防団員数

平成29. 4. 1現在

年齢 \ 階級	団 長	副団長	分団長	副分団長	班 長	団 員	合 計
18 歳 ~ 20 歳						1	1
21 歳 ~ 25 歳						22	22
26 歳 ~ 30 歳						46	46
31 歳 ~ 35 歳				2	4	36	42
36 歳 ~ 40 歳			2	3	6	20	31
41 歳 ~ 45 歳			2	5		5	12
46 歳 ~ 50 歳			1				1
51 歳 ~ 55 歳			1			1	2
56 歳 ~ 60 歳		2	1				3
61 歳 ~ 65 歳	1						1
合 計	1	2	7	10	10	131	161

平均年齢 32.9 歳

## 在職年数別消防団員数

平成29. 4. 1現在

在職年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
団 員 数	54	51	34	13	1	5	3	161

## 消防団員報酬

平成29. 4. 1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	班 長	団 員
年 間 報 酬 額 (円)	186,000	128,000	105,000	87,000	76,000	70,000

## 消防団員各種手当

平成29. 4. 1現在

項 目	水 火 災	訓 練	警 戒	ポンプ点検	車両検査	賄 手 当
1 回 当 り の 手 当 (円)	5,000	2,000	1,000	700	700	700

※水火災については活動時間が4時間未満の場合は2分の1の額とする。

## 消防団員職業別構成表

平成29. 4. 1現在

職 業	自営業	会社員	公務員	その他 (役員等)	合計
人 数	10	98	35	18	161

## 消防団消防車両配置状況

平成29. 4. 1現在

区分 分団名	車 名	規格等	登 録 番 号	登録年月日	排気量 (cc)	車両重量 (kg)
菰野分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す 715	H17. 2. 9	4,770	4,130
菰野分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800す7276	H23. 2. 14	2,990	4,400
菰野分団第3班	いすゞ	CD-I	三重800さ9007	H15. 12. 15	4,770	3,990
鷺川原分団	いすゞ	CD-I	三重800す5567	H21. 2. 3	2,990	4,290
竹 永 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4047	H13. 2. 7	4,570	4,140
朝上分団第1班	いすゞ	CD-I	三重800す4668	H20. 2. 6	2,990	4,110
朝上分団第2班	いすゞ	CD-I	三重800さ7399	H14. 12. 16	4,770	4,360
千 種 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ5820	H13. 12. 18	4,570	4,080
湯 の 山 分 団	いすゞ	CD-I	三重800さ4046	H13. 2. 7	4,570	4,140
本 部 分 団	いすゞ	CD-I	三重830せ1702	H29. 2. 22	2,990	4,900
団 本 部	日産	付積	三重800せ 280	H27. 3. 26	2,480	2,890
〃	トヨタ	付積	三重 88ほ7972	H 7. 8. 30	1,990	1,850
〃	日産	ワゴン	三重502ふ2380	H26. 11. 27	1,590	1,350

※付積＝小型動力ポンプ付積載車

# 予防



春の火災予防運動に伴う火災予防広報の一環として町内のスーパー及び店舗でチラシ配布や町内全域を消防車で走行しながら防火を呼びかけました。

春の火災予防運動に伴う防火広報

平成28年2月28日

於：イオンタウン菰野

## 予 防

消防の仕事として、住民の方がまずイメージされるのが、火災時の消火活動のような消防隊の活動、あるいは救急隊の活動です。しかし、火災等の災害を未然に防止することもまた、消防の重要な仕事のひとつです。一般家庭に対しては、行事・講習会等を通じ防火意識の普及高揚を図るとともに、事業所に対しては危険物の取扱い、消防用設備等の設置・維持・管理等について指導を行っています。

## 防火対象物現況

用 途		平成29. 4. 1現在			平成28. 4. 1現在		
		4階未満	4階以上	合 計	4階未満	4階以上	合 計
1	イ 劇場・映画館・演芸場・観覧場						
	ロ 公会堂・集会場	38		38	37		37
2	イ キャバレー・ナイトクラブ						
	ロ 遊技場・ダンスホール	6		6	6		6
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ カラオケボックス等						
3	イ 待合・料理店						
	ロ 飲食店	46		46	46		46
4	百貨店・マーケット・店舗	69		69	70		70
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所	106	11	117	106	12	118
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	201	14	215	201	14	215
6	イ 病院・診療所・助産所	26	3	29	24	3	27
	ロ 老人短期入所施設等	12	3	15	11	3	14
	ハ 老人デイサービスセンター等	25		25	25		25
	ニ 幼稚園・特別支援学校	2		2	2		2
7	小・中・高・大学・各種学校	29	2	31	29	2	31
8	図書館・博物館・美術館	5		5	5		5
9	イ 蒸気浴場・熱気浴場	1		1	1		1
	ロ イ以外の公衆浴場	1		1	1		1
10	車両の停車場	4		4	4		4
11	神社・寺院・教会	44		44	44		44
12	イ 工場・作業場	168	3	171	167	3	170
	ロ 映画スタジオ・テレビスタジオ						
13	イ 自動車車庫・駐車場	13		13	13		13
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14	倉庫	86		86	83		83
15	前各号に該当しない事業場	111	5	116	108	5	113
16	イ 特定複合用途防火対象物	30	2	32	30	2	32
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	10	1	11	10	1	11
合 計		1,033	44	1,077	1,023	45	1,068

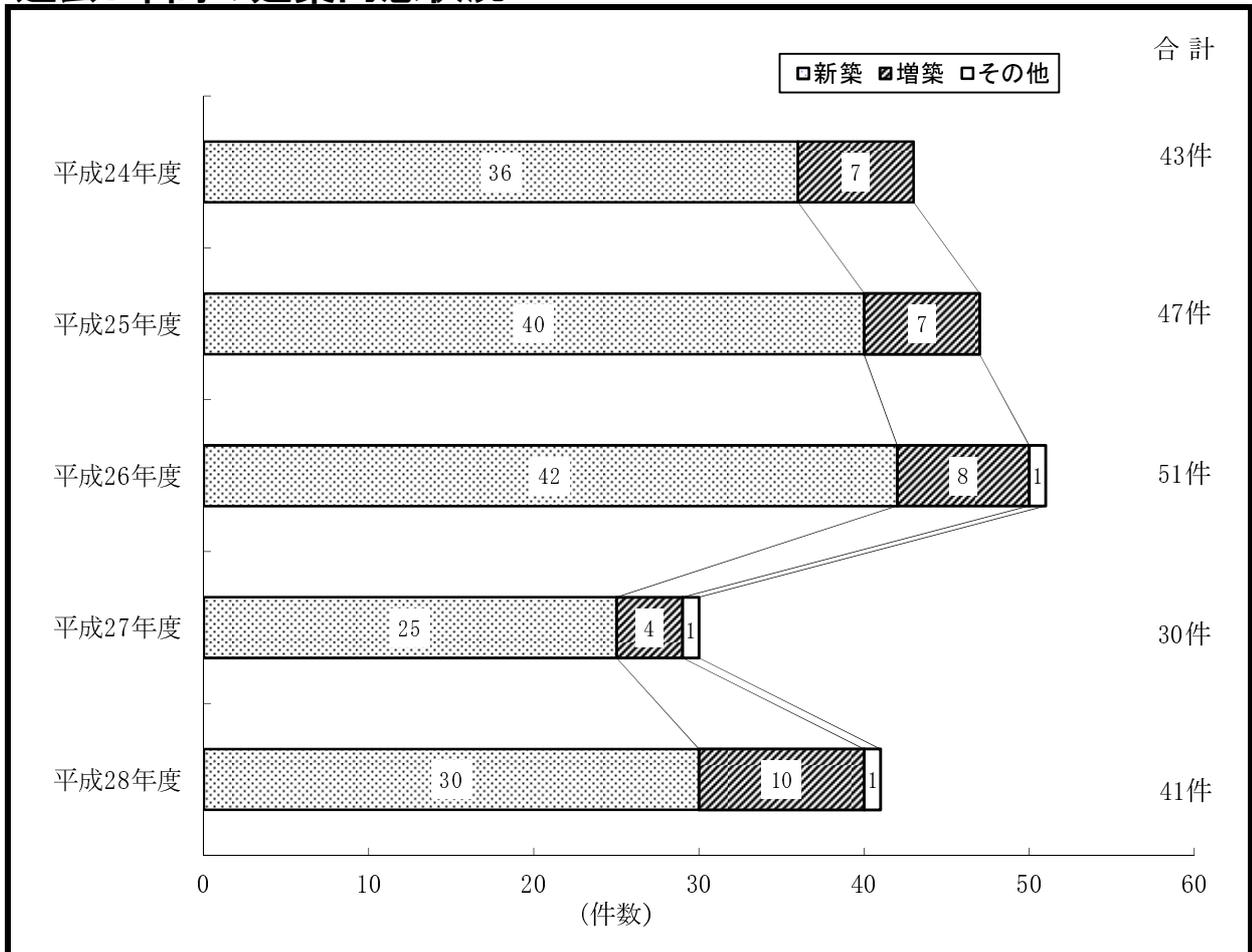
# 用途別建築同意状況

用 途		月 別												28年度 合 計	27年度 合 計		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場															
	ロ	公会堂・集会場															
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ															
	ロ	遊技場・ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
3	イ	待合・料理店															
	ロ	飲食店															
4		百貨店・マーケット・店舗							1		1					2	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所															1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅															1
6	イ	病院・診療所・助産所						1		1						2	1
	ロ	老人短期入所等				1				1						2	1
	ハ	老人デイサービス等									1					1	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校															
7		小・中・高・大学・各種学校															2
8		図書館・博物館・美術館															
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場															
	ロ	イ以外の公衆浴場															
10		車両の停車場															
11		神社・寺院・教会								1				1	1	3	
12	イ	工場・作業場	1	1	1		2	1	1					1	1	9	4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫・駐車場				1										1	
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫			2			2			1		1		6	3	
15		前各号に該当しない事業場		1	1	1	2			1			1	2	9	3	
16	イ	特定複合用途防火対象物															
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物															
その他		住 宅	1										1		2	8	
		そ の 他					1			1				2	4	3	
合 計			2	2	4	3	6	4	4	4	1	1	4	6	41	30	

## 工事別建築同意状況

区分	工事種別					平成28年度 合 計	平成27年度 合 計
	新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他		
同 意	30	10			1	41	30
不 同 意							
合 計	30	10			1	41	30

## 過去5年間の建築同意状況



## 危険物施設現況

区分		製造所等の別	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所					28年度合計	27年度合計		
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油		第一種販売			第二種販売	一般
													営業用	自家用					
倍 数 別	検査済施設数	1	129	28	26	7	40	1	23	4	57	16	16		1	24	187	190	
	5倍以下		58	10	4	7	26	1	8	2	12		3			9	70	72	
	5倍超10倍以下		23	3	8		11			1	7					7	30	31	
	10倍超50倍以下	1	22	2	8		3		8	1	23	4	13		1	5	46	45	
	50倍超100倍以下		7		3				4		5	2				3	12	12	
	100倍超150倍以下		10	4	3				3		2	2					12	13	
	150倍超200倍以下		2	2							2	2					4	4	
	200倍超1,000倍以下		3	3							6	6					9	9	
	1,000倍超		4	4													4	4	
類 別	第 1 類		1	1													1	1	
	第 2 類																0		
	第 3 類																0		
	第 4 類	1	125	24	26	7	40	1	23	4	57	16	16		1	24	183	186	
	第 5 類		1	1													1	1	
	第 6 類																		
	混 在		2	2													2	2	

## 危険物施設許可認可状況

区分		許 可				完 成 検 査				仮使用承認		廃 止 届	
		設 置		変 更		設 置		変 更					
		製造所等の別		28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度
製 造 所													
貯 蔵 所	屋 内			2				2					
	屋外タンク											1	
	屋内タンク												2
	地下タンク					2				2		1	
	簡易タンク												
	移動タンク		1		3			1		3		1	2
	屋 外												
取 扱 所	給 油	1		2	3	1		2	2	1	3		
	第一種販売												
	第二種販売												
	一 般	1		3	3			3	3	4	2	1	
合 計		2	1	7	11	1	1	7	10	5	5	4	4

## 各種届出処理状況

平成28年度

区 分	件 数	区 分	件 数
防 火 管 理 者 選 解 任 届	50	蓄 電 池 設 備 設 置 届	8
消 防 計 画 書	66	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	286	水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球 設 置 届	
液 化 石 油 ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	6	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	13
防 火 対 象 物 使 用 開 始 届	34	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	3
消 防 訓 練 実 施 届	139	毒 物 ・ 劇 物 貯 蔵 取 扱 届	
炉 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届	122
ボ イ ラ ー 設 備 等 設 置 届	13	煙 火 ( 打 上 げ ・ 仕 掛 け ) 届	14
発 電 設 備 設 置 届	3	消 防 用 設 備 等 着 工 届	47
変 電 設 備 設 置 届	16	消 防 用 設 備 等 設 置 届	32
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	25	露 店 等 の 開 設 届	51

## 消防用設備等設置検査実施状況

区 分	件 数	
	28 年 度	27 年 度
検 査 済 証	46	30

# 広報・啓発活動状況

平成28年度

区 分		回 数 等	延べ対象者数等
消防広場（菰野町文化祭）		1回	約5,000人
庁 舎 見 学		17回	575人
訓 練 指 導		47回	1,553人
一人暮らし高齢者防火訪問		20件	20人
巡 回 広 報		11回	町内全域
防 火 だ よ り の 発 刊		2回	26,700部
写 生 大 会 ・ 防 火 習 字		各1回	878人
広報印刷物等	ポ ス タ ー		1,490枚
	チ ラ シ		2,380枚
	広 報 こ も の	6回	122,400部
	お 知 ら せ 版	16回	217,600部
そ の 他	の ぼ り	105日間	190本
	懸 垂 幕	21日間	3枚
	横 断 幕	40日間	20枚
	防 災 ラ ジ オ 放 送	24回	13,542台

【平成29年度全国統一防火標語】

「火の用心 ことばを形に 習慣に」

【平成29年度危険物安全週間推進標語】

「あなたなら 無事故の着地 きめられる！」

# 火災



防災週間の一環として、地震災害発生時に被害拡大が懸念される湯の山温泉の宿泊施設において特別消防訓練を実施しました。

防災週間に伴う特別消防訓練

平成28年9月1日

於：湯の山温泉湯元グリーンホテル

# 火災

平成28年中は、14件の火災が発生し、これら全火災での損害額は26,434千円でした。

火災件数は、前年に比べて2件増加しました。建物火災の件数が6件で火災による死者1名、負傷者2名発生しており、林野火災も3件発生しているのが特徴です。

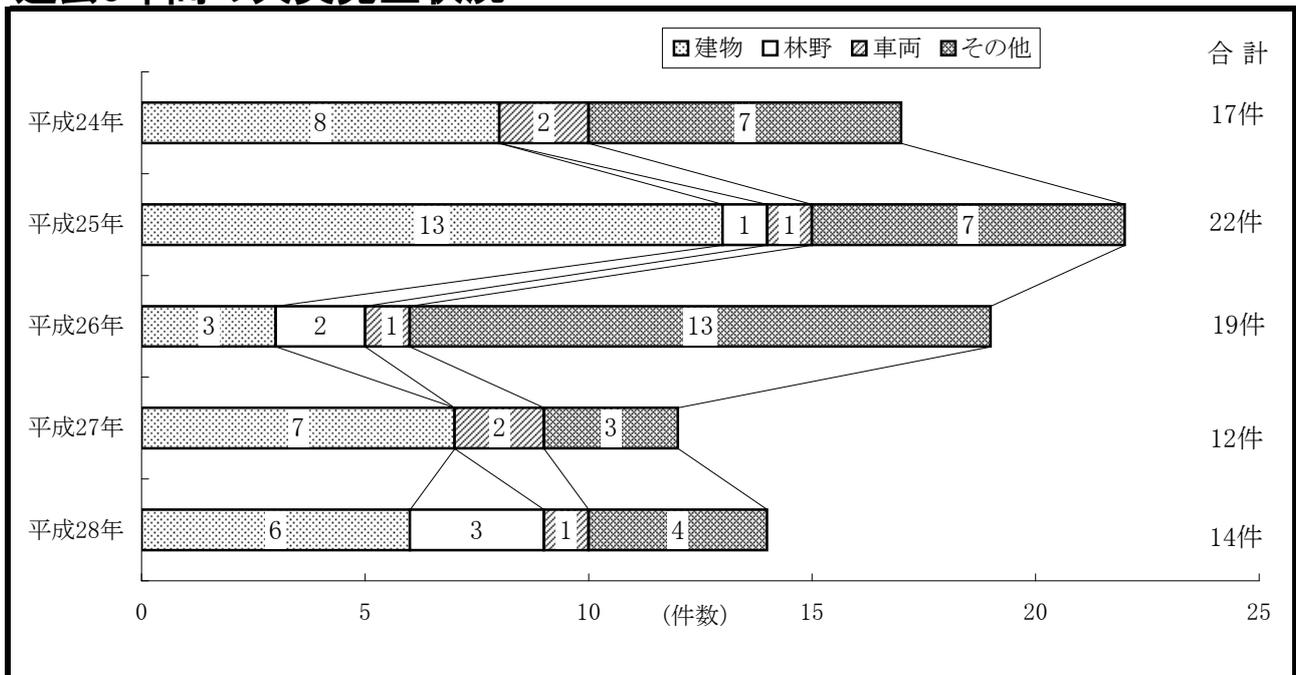
## 火災発生状況

区 分		年 別				
		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	火 災 件 数	44,189	48,095	43,741	39,111	
	出 火 率	3.5	3.7	3.4	3.1	
	1件当り損害額(千円)	2,030	1,890	1,950	2,110	
三 重 県	火 災 件 数	714	843	797	604	
	出 火 率	3.9	4.5	4.3	3.2	
	1件当り損害額(千円)	2,334	1,614	2,258	2,901	
菰野町	火 災 件 数	17	22	19	12	14
	出 火 率	4.1	5.3	4.7	2.9	3.4
	1件当り損害額(千円)	1,278	2,601	656	2,624	1,888

※出火率=出火件数/人口×10,000

※菰野町人口41,731人(平成28年12月31日現在)

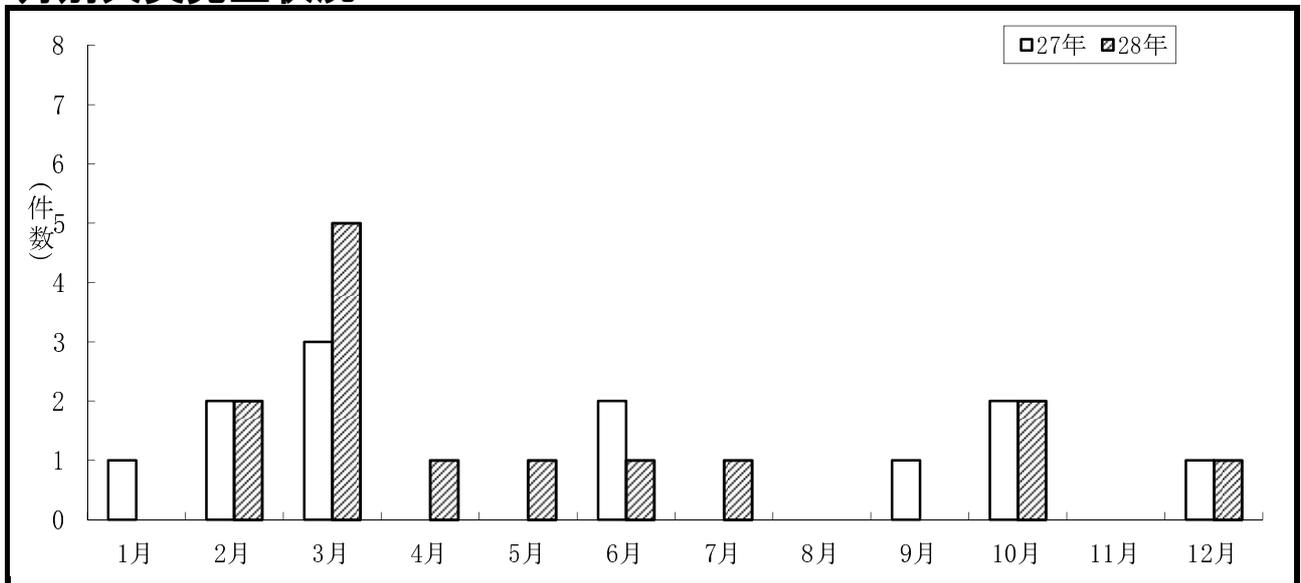
## 過去5年間の火災発生状況



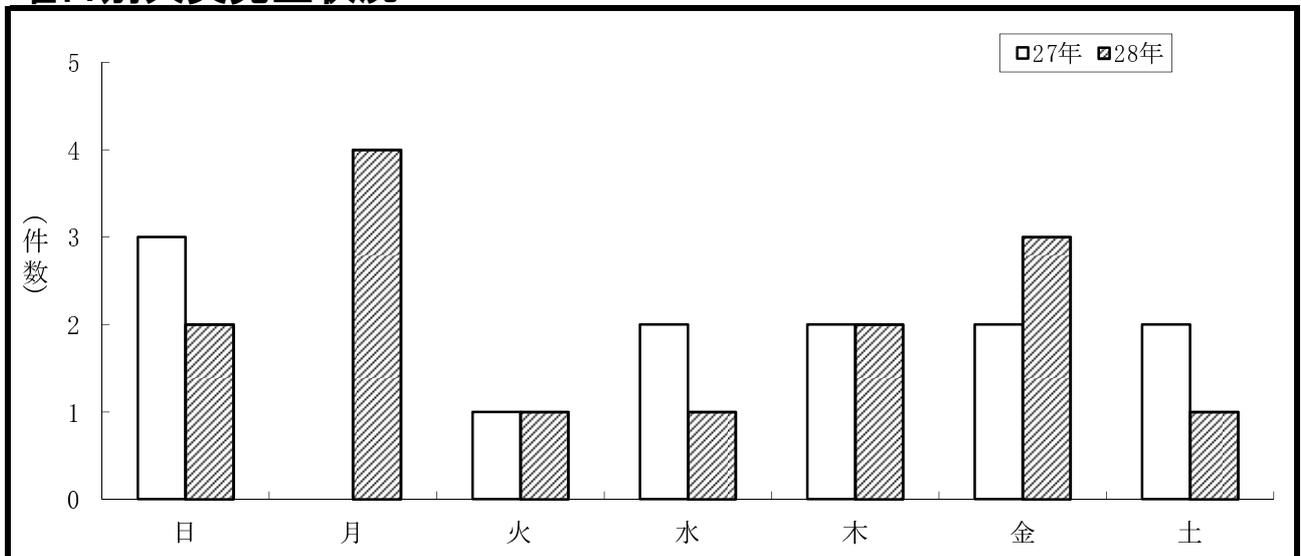
## 地区別火災発生状況

区分 地区	火災 件数	火災種別				建物 焼損面積 (㎡)	林野 焼損面積 (a)	焼損棟数					り 災世帯数	損害額 (千円)	死傷者	
		建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災			全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	合 計			死 者	負 傷者
菰野	1	1				738			1		1		4,353		1	
鶉川原	2	1			1	21.87		1					137			
竹永	2	1		1		30			1				1,143			
朝上	5	2	2		1	66.31	4.8		1		1	2	1	8,466	1	
千種	4	1	1		2		1.75			1			12,335		1	
合計	14	6	3	1	4	856.18	6.55	1	1	3	1	3	1	26,434	1	2

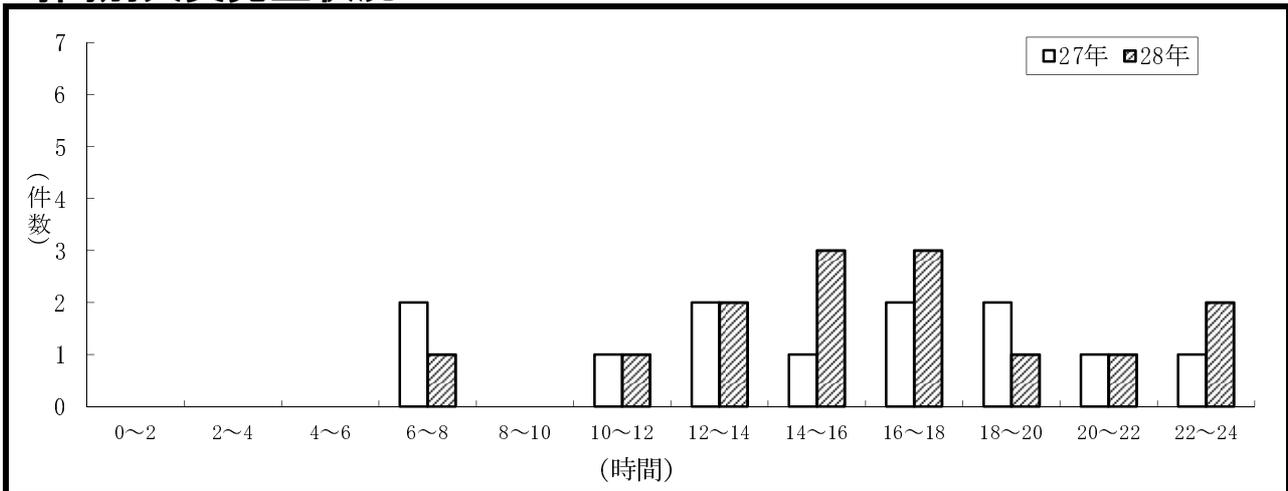
## 月別火災発生状況



## 曜日別火災発生状況



## 時間別火災発生状況



## 火災出場状況

種別 区分	火 災					火 災 以 外				管外
	建 物	林 野	車 両	その他	計	警 戒	誤 報 誤 認 虚 報	その他	計	
署 単 独 出 場		1			1	25		2	27	
1 次 出 場	6	1	1	4	12					
2 次 出 場										
3 次 出 場										
事 後 聞 知		1			1					
出 場 件 数	6	3	1	4	14	25		2	27	

## 出動区分詳細

火災種別	出動区分	消防本部・消防署出動車両	消防団出動車両
建物 危険物施設 航空機・林野	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
車両・特殊車両 危険物車両 枯草・その他	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び本部分団 2~3車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	地元分団及び応援分団 4~5車両
	第 3 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車 3車両	全分団 11車両
中高層	第 1 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	地元分団及び本部分団 4~5車両
	第 2 出 動	タンク車・ポンプ車・指揮車・はしご車 4車両	全分団 11車両
事後聞知		タンク車・指揮車 1~2車両	

## 火災発生状況及び出火原因状況

番号	火災種別	出火日時	出火場所	※覚知別	天候	風向	風速 (m/s)	気温 (℃)
1	建物	2月23日 23時00分	千種(千草)	報知電話	晴	北北西	4	8
2	建物	2月27日 12時45分	鵜川原(川北)	報知電話	晴	東南東	2	8
3	その他	3月7日 7時00分	鵜川原(吉沢)	報知電話	曇	北東	2	14
4	その他	3月28日 12時00分	千種(音羽)	報知電話	晴	西北西	5	14
5	林野	3月29日 15時30分	朝上(小島)	報知電話	晴	南	4	15
6	建物	3月29日 17時15分	菰野(神森)	加入電話	晴	南	3	15
7	林野	3月31日 10時45分	千種(千草)	報知電話	晴	東	2	16
8	建物	4月13日 17時30分	朝上(田口新田)	報知電話	雨	南	2	13
9	その他	5月20日 18時50分	千種(千草)	報知電話	晴	南	3	20
10	その他	6月18日 23時05分	朝上(田光)	報知電話	晴	北西	1	21
11	建物	7月29日 20時45分	竹永(永井)	報知電話	晴	南南西	1	25
12	車両	10月15日 14時00分	竹永(竹成)	加入電話	晴	南	3	22
13	林野	10月15日 14時30分	朝上(小島)	加入電話	晴	南	3	22
14	建物	12月20日 16時15分	朝上(田光)	報知電話	晴	東北東	0	12

※ 報知電話 = 119番(携帯電話等含む)

加入電話 = 一般加入電話

	湿度	出火原因等			被害状況
	(%)	発火源	経過	着火物	
	70	工業炉	過熱する	第三石油類	機械部品製造過程において焼入油槽内の油温上昇による発火爆発 負傷者1名
	46	たばこ	容器から火種がこぼれる	合成樹脂と成形品	木造平屋建て農業用倉庫及びコンテナ1棟を全焼
	93	不明	放火の疑い	不明	畑の枯草、垣根及び畳、支線柱を焼損
	42	火のついたゴミ	火の粉が散る、遠くへ飛火する	枯草	河川敷の枯草、電柱の支線カバー及び屋外トイレの換気用パイプを焼損
	31	ライター	火遊び	落ち葉	河川敷の竹藪を焼損
	39	不明	引火する	合成樹脂と成形品	鉄骨平屋建てガラス張りの農業用温室ハウスを部分焼及び収容物を焼損 負傷者1名
	26	ごみ焼却炉の火の粉	火の粉が散る、遠くへ飛火する	木切れ	植林されていた杉、檜及び支線カバーを焼損
	91	不明	不明	不明	木造2階建て専用住宅を半焼 死者1名
	58	不明	放火の疑い	その他	生垣に使われていた杉1本を焼損
	72	不明	放火の疑い	ごみ類	河川敷に堆積していた段ボールを焼損
	83	油ぼろ	自然発火する	ぼろ、油ぼろ	鉄骨平屋建てスレート張りの作業所を部分焼け及び収容物を焼損
	39	枯草焼き	火源が動いて接触する	タイヤ	敷地内に駐車中の車両4台を焼損
	39	たき火	輻射を受けて発火する	立木	河川敷の雑木林を焼損
	69	その他	放火の疑い	その他	高床式建築物（ログハウス）の胴差の表面、コンクリートパネル16枚及び周囲の下草を焼損

# 絵で見る火災原因(14件)



枯草・たき火 4件



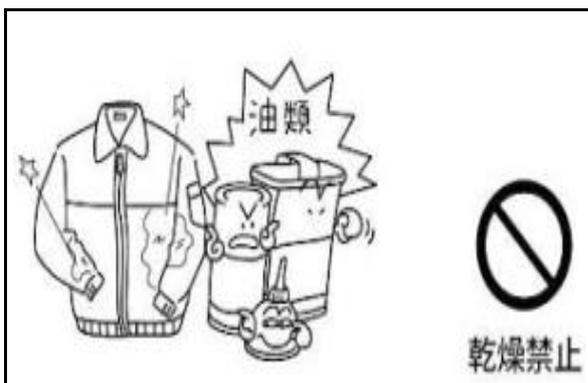
たばこ 1件



過熱 1件



火遊び 1件



自然着火 1件



不明 6件

# 救急・救助



増加する山岳事故に対する救助体制を強化するため、定期的に関係機関合同の訓練を実施しています。実践的な山岳救助技術を練磨するため携帯GPSと地形図を活用したルート選定及び急傾斜地での搬送訓練を実施しました。

山岳救助訓練

平成28年6月14日  
於：千種地区の山林にて

## 救 急

平成28年中の救急件数は1,452件、搬送人員は1,366人でした。1日あたり平均4件の出場で、町民31人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が958件(66%)で最も多く、続いて一般負傷が233件(16%)、交通事故が167件(11.5%)、その他が94件(6.5%)となりました。

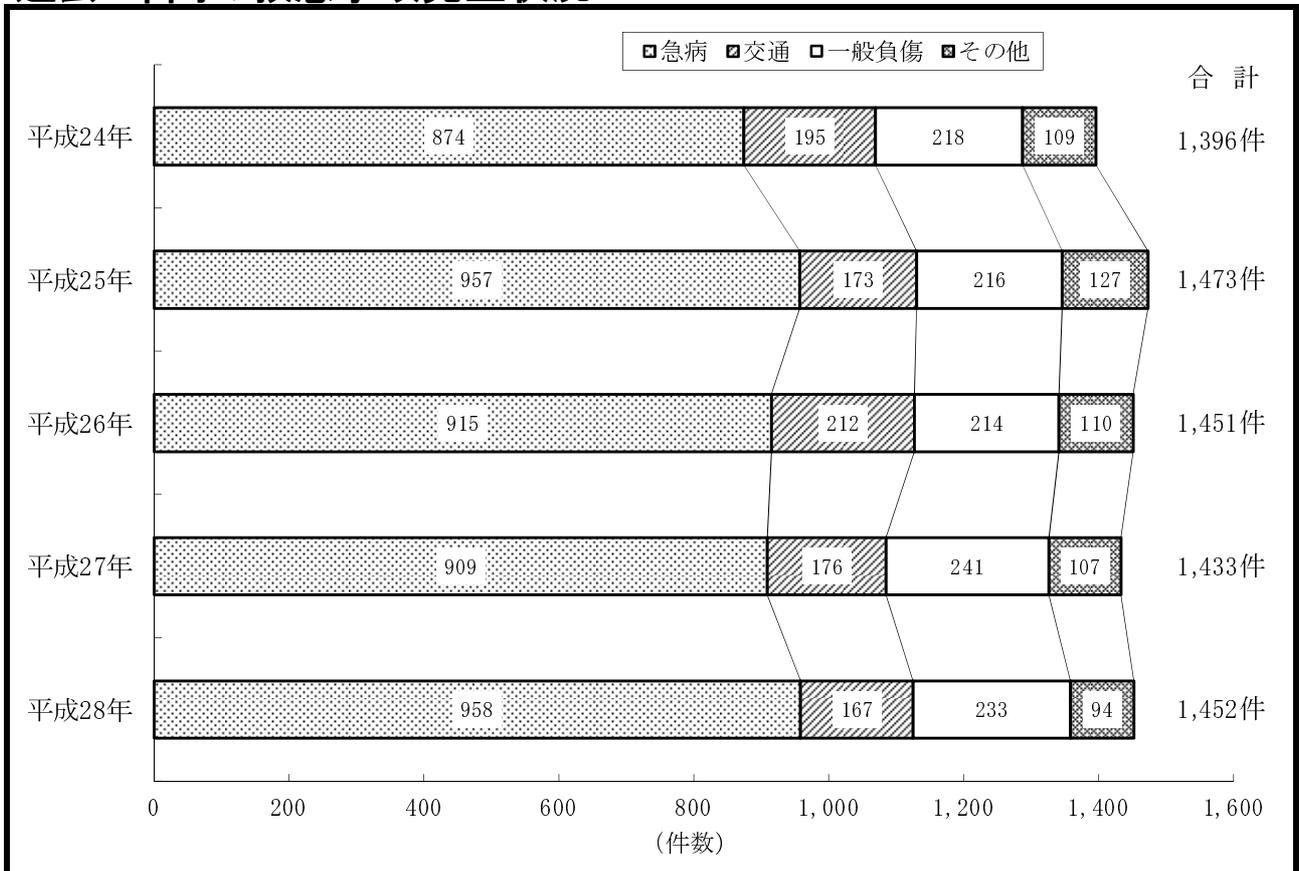
## 救急事故発生状況

年 別		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
区 別						
全 国	救急件数	5,802,455	5,915,683	5,984,921	6,054,815	
	発生率	453	466	467	477	
三 重 県	救急件数	87,076	90,560	89,277	90,593	
	発生率	469	488	481	499	
菰野町	救急件数	1,396	1,473	1,451	1,433	1,452
	発生率	338	355	350	345	348

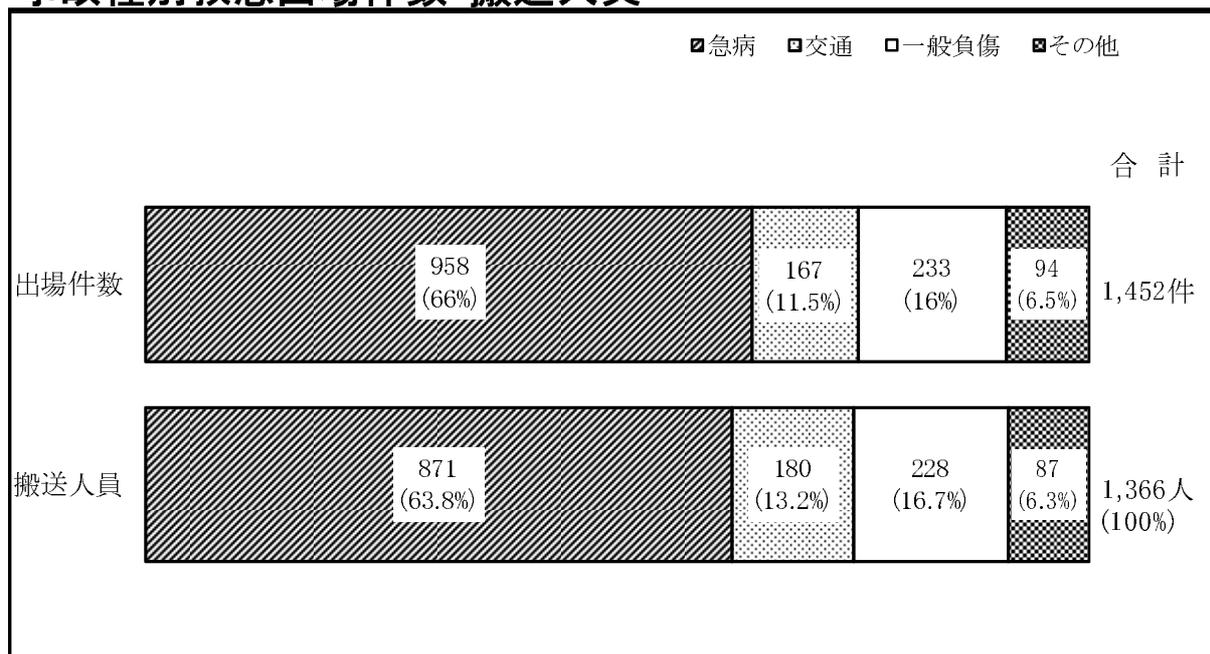
※発生率＝救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,731人(平成28年12月31日現在)

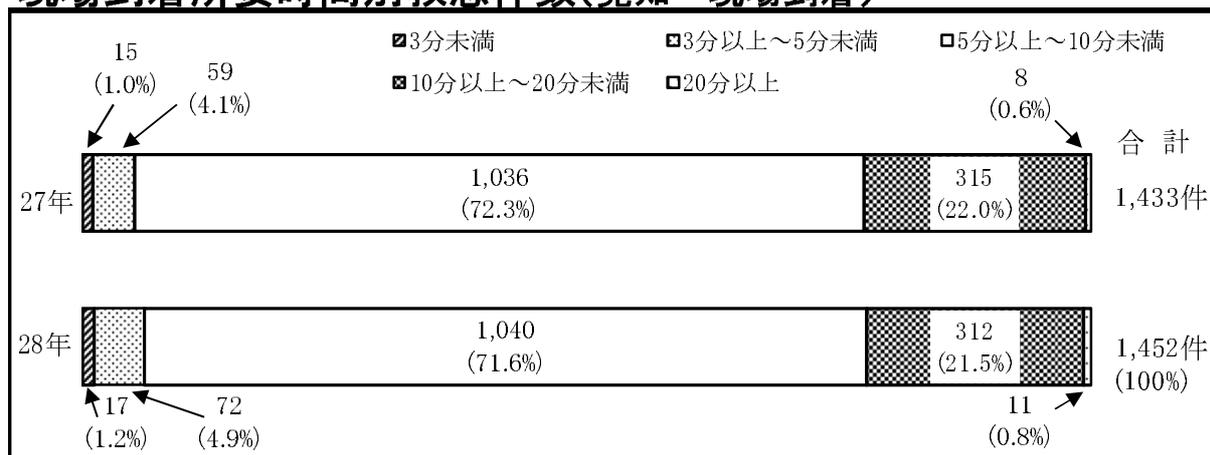
## 過去5年間の救急事故発生状況



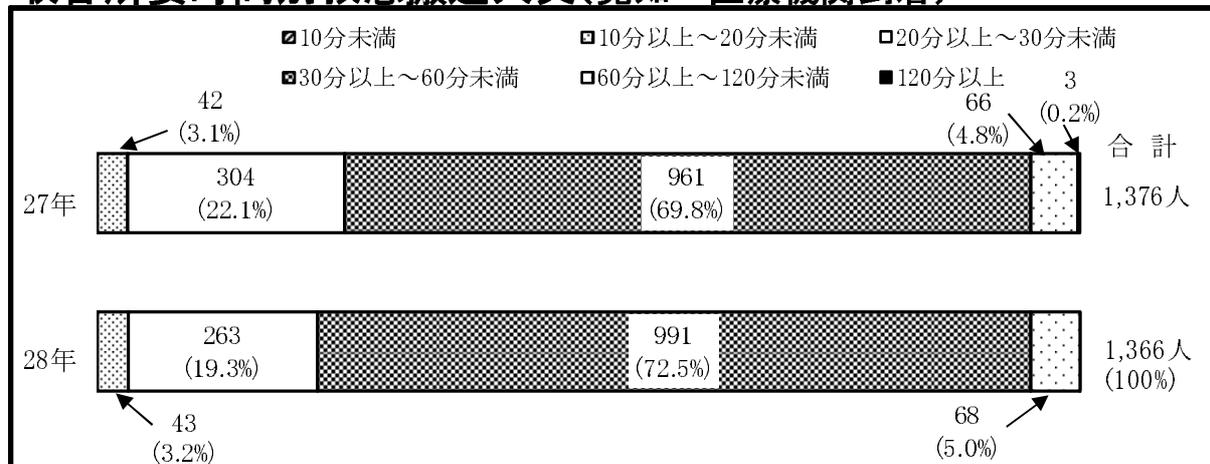
## 事故種別救急出場件数・搬送人員



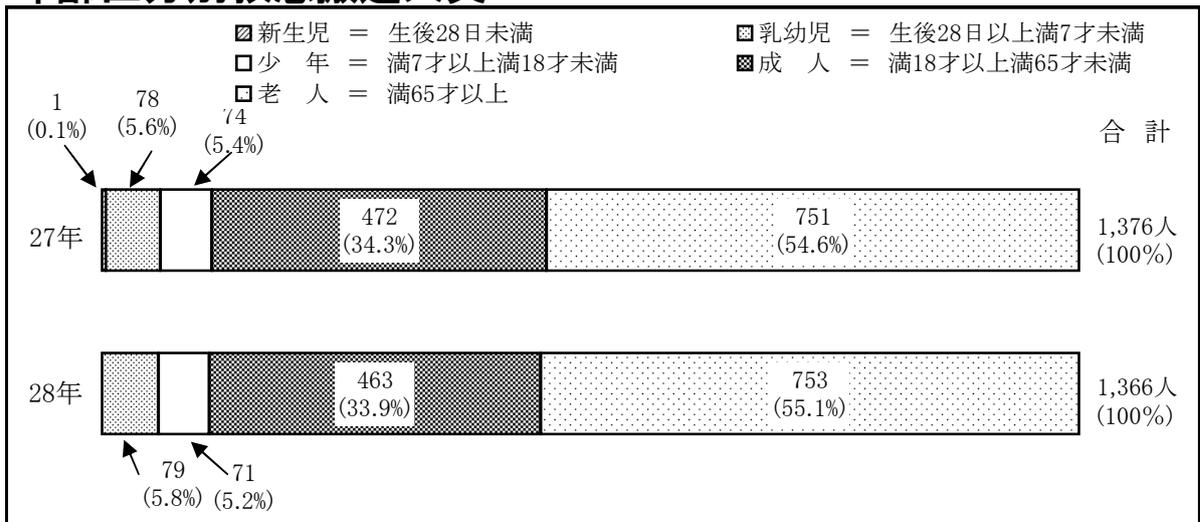
## 現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



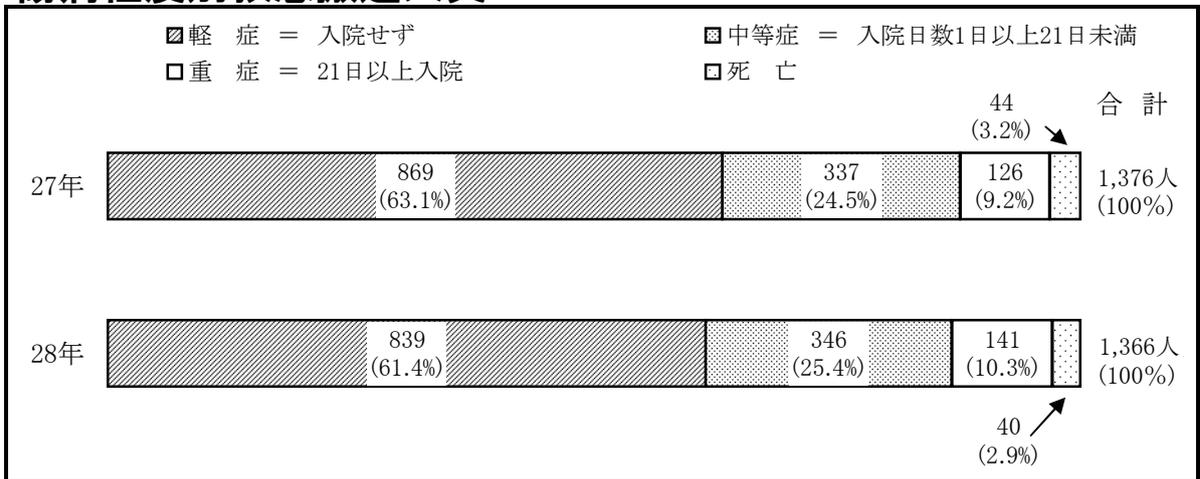
## 收容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



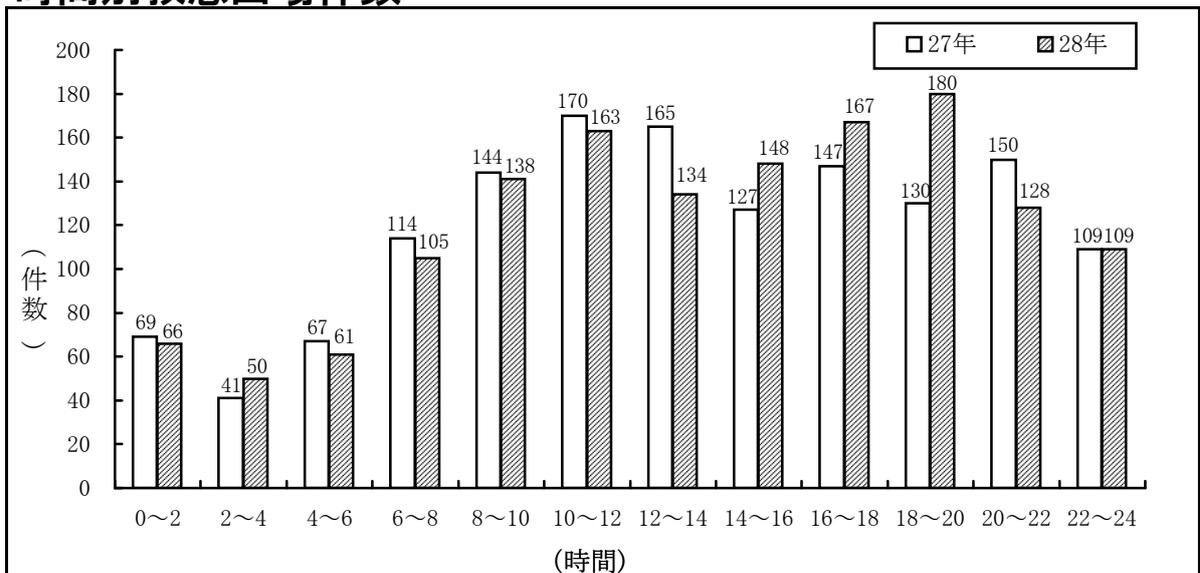
## 年齢区分別救急搬送人員



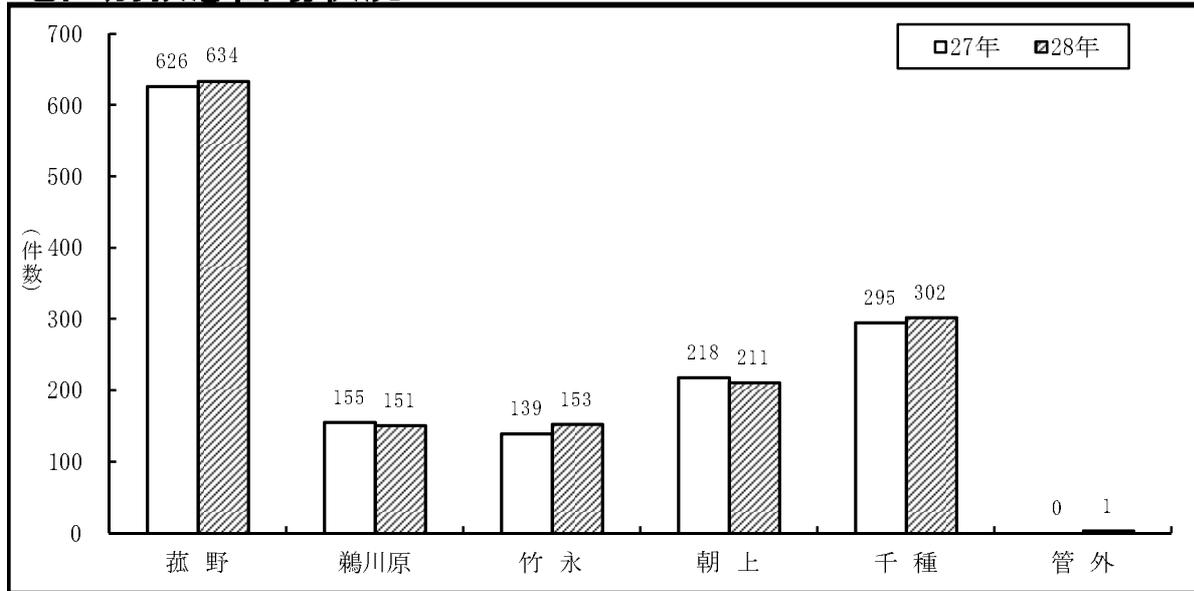
## 傷病程度別救急搬送人員



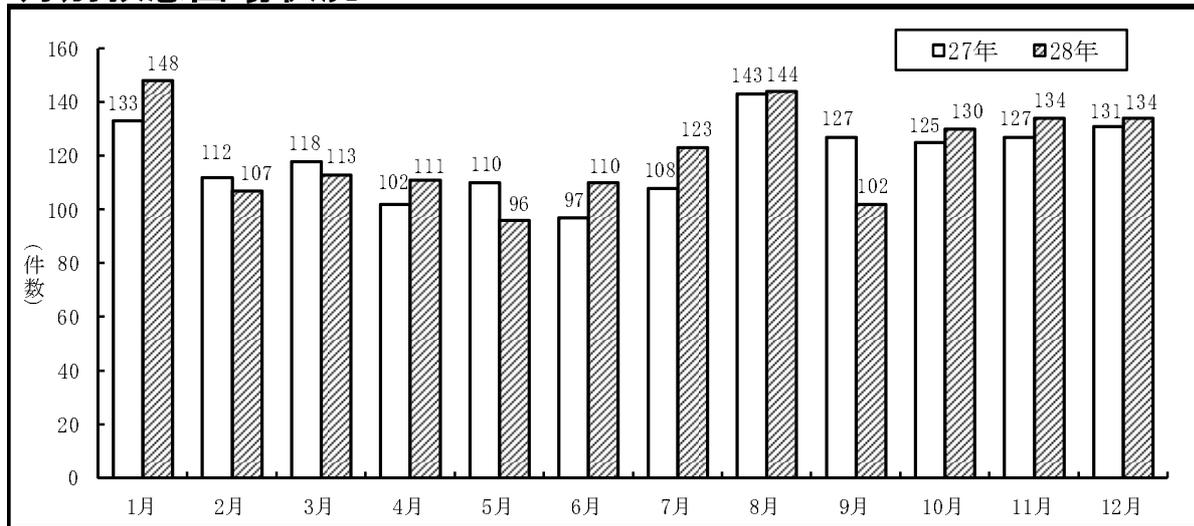
## 時間別救急出場件数



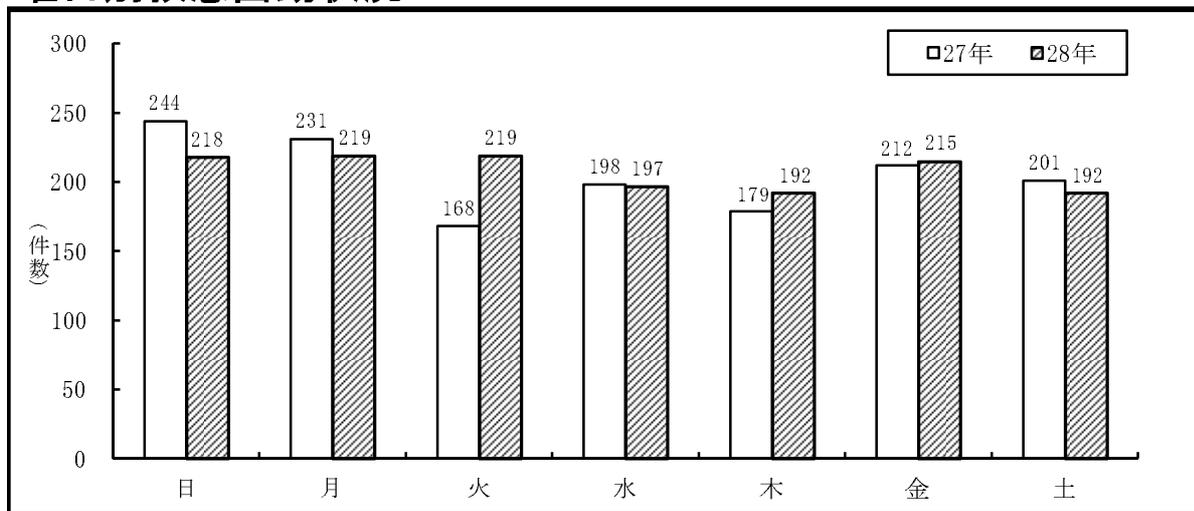
## 地区別救急出場状況



## 月別救急出場状況



## 曜日別救急出動状況



## 年齢区分別・傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	28年合計	27年合計
死亡			2	9	29	40	44
重症			2	29	110	141	126
中等症		9	7	93	237	346	337
軽症		70	60	332	377	839	869
その他							
合計		79	71	463	753	1,366	1,376

## 事故種別・年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	28年合計	27年合計
新生児													1
乳幼児				3			28			48		79	78
少年			1	17		6	13		1	32	1	71	74
成人	1			116	17	4	46	2	4	258	15	463	472
高齢者	1			44	3		141	1	3	533	27	753	751
合計	2		1	180	20	10	228	3	8	871	43	1,366	1,376

## 事故種別・傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	28年合計	27年合計
死亡				2		1			3	33	1	40	44
重症				7	1	1	34		2	80	16	141	126
中等症	1			25	1	1	43	1	3	250	21	346	337
軽症	1		1	146	18	7	151	2		508	5	839	869
その他													
合計	2		1	180	20	10	228	3	8	871	43	1,366	1,376

## 事故種別・時間別救急出場件数

事故種別 区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	28年 合計	27年 合計	
休 日			1	32	3	8	51	2		208	4	309	320	
休日以外の日	3			135	18	2	182	1	12	750	40	1,143	1,113	
時 間 内 訳	0～2			2	1		2			61		66	69	
	2～4			1			6	1		42		50	41	
	4～6			2	1		3			55		61	67	
	6～8			17			12		4	71	1	105	114	
	8～10			26	2	1	24		1	84	3	141	144	
	10～12			1	23	5	4	32	1	2	90	5	163	170
	12～14				14	1		25		1	82	11	134	165
	14～16				14	4	1	32		2	83	12	148	127
	16～18	1			29	4	3	34			88	8	167	147
	18～20	1			29	1		35			111	3	180	130
	20～22				7	2		20		1	97	1	128	150
22～24	1			3		1	8	1	1	94		109	109	
28年計	3		1	167	21	10	233	3	12	958	44	1,452		
27年計				176	27	8	241	5	14	910	52		1,433	

## 事故種別・応急処置件数

事故種別 応急処置	急 病	交 通	一般負傷	そ の 他	合 計
止 血	13	29	71	16	129
固 定	26	155	100	14	295
人工呼吸	8				8
心肺蘇生	33		1	5	39
酸素吸入	237	25	12	22	296
気道確保	49	1	2	5	57
気道確保(特定行為)	5			1	6
保 温	341	64	83	29	517
被 覆	5	29	57	10	101
除 細 動	2			1	3
静脈路確保	24	1	2	3	30
薬剤投与	6			2	8
ブドウ糖投与	1				1
そ の 他	3,058	556	605	265	4,484
合 計	3,808	860	933	373	5,974

※人工呼吸は、単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

## 事故種別・医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		28年合計		27年合計		
	開設別		うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	
救急告示医療機関	国立		1	1					3	3	4	4	1	1	
	公立		409	409	91	91	124	124	52	52	676	676	658	658	
	公的		385	66	89	27	97	28	26	9	597	130	681	183	
	私的	病院		53	44			5	5	4	4	62	53	8	1
		診療所													
計		848	520	180	118	226	157	85	68	1,339	863	1,348	843		
その他の医療機関	国立														
	公立								1	1	1	1	1	1	
	公的		4	4							4	4	1	1	
	私的	病院		11	11			1	1	1	1	13	13	15	15
		診療所		8	6			1				9	6	11	7
計		23	21			2	1	2	2	27	24	28	24		
計	国立		1	1					3	3	4	4	1	1	
	公立		409	409	91	91	124	124	53	53	677	677	659	659	
	公的		389	70	89	27	97	28	26	9	601	134	682	184	
	私的	病院		64	55			6	6	5	5	75	66	23	16
		診療所		8	6			1				9	6	11	7
計		871	541	180	118	228	158	87	70	1,366	887	1,376	867		
その他の場所	接骨院等														
	その他														
	計														
28年計			871	541	180	118	228	158	87	70	1,366	887			
27年計			863	522	182	113	234	159	97	73			1,376	867	

## 救助出場状況

平成28年中は、36件の救助出場があり、救助人員は30名でした。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。（20件）

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別
1	交 通	1月 5日 13時 45分	朝 上 (田光)	報 知 電 話
2	その他	1月 7日 0時 13分	千 種 (潤田)	報 知 電 話
3	交 通	3月 18日 19時 41分	千 種 (潤田)	報 知 電 話
4	交 通	4月 13日 13時 52分	竹 永 (永井)	報 知 電 話
5	交 通	4月 25日 10時 46分	竹 永 (永井)	報 知 電 話
6	交 通	4月 26日 7時 58分	千 種 (千草)	報 知 電 話
7	その他 (山岳)	4月 30日 13時 34分	千 種 (千草)	報 知 電 話
8	その他 (山岳)	5月 5日 14時 01分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
9	その他 (山岳)	5月 22日 13時 59分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
10	その他 (山岳)	5月 22日 14時 55分	千 種 (千草)	報 知 電 話
11	その他 (山岳)	5月 22日 15時 53分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話
12	その他 (山岳)	5月 28日 15時 20分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話
13	その他	6月 3日 9時 27分	菰 野 (菰野第二区)	報 知 電 話
14	その他 (山岳)	6月 6日 13時 28分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話
15	その他	6月 20日 19時 48分	菰 野 (菰野第一区)	報 知 電 話
16	交 通	6月 23日 19時 52分	菰 野 (福村)	報 知 電 話
17	交 通	7月 21日 11時 02分	朝 上 (小島)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
加 入 電 話 = 一般加入電話

	出 場 車 両	人 員	事 故 概 要 等	救 助 概 要 等
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で農業用水に転落した	救急隊と協力して、農業用水から救出した
	救助工作車	3	洗面所から女性二人が自力脱出困難となった	ドアを破壊して、救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	後部ハッチから侵入し、バックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 4 3	2tトラックの単独事故で、1名が挟まれて自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無く、火災危険を考慮し警戒筒先を配備した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車 ポンプ車	4 3 3 2	交差点内での自動車と2tトラックの衝突事故で、横転した車の3名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、抱きかかえて1名ずつ車外に救出した
	救助工作車 救急2号車 救急予備車 ポンプ車	3 3 3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無く、車両の転倒防止措置を行った
	広報車 救急1号車	4 3	風腰峠付近を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳中道を下山中に滑落した	防災航空隊と協力して、自力歩行にて山頂まで救出した
	広報車	4	御在所岳本谷を登山中に岩で指を負傷した	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	査察車	4	御在所岳前尾根ヤグラ付近でロッククライミング中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に足を負傷した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車	4	子供が車内から自力脱出困難となった	スペアキーを使用して開錠し、救出した
	広報車 救急2号車	4 2	御在所岳山頂で動けなくなった	御在所ロープウェイ職員と協力し御在所ロープウェイ山頂駅まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	入浴後、車椅子に移動しようとした際にレバーが左側腰部に突き刺さった	レバー部分を工具にて取り外し、救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の2名が自力脱出困難となった	要救助者は自力脱出しており、救助の必要は無かったので、車両の転倒防止措置を行った
	救助工作車 救急1号車	4 3	自転車で転倒して、ホイールスポークの間に左足首が巻き込まれた	通りがかりの者がホイールスポークを切断して要救助者は救出されていた

## 救助出場状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所	※覚 知 別
18	その他 (山岳)	7月 24日 13時 06分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
19	交 通	8月 11日 18時 19分	鶴川原 (下村)	報 知 電 話
20	交 通	8月 22日 19時 07分	千 種 (千草)	報 知 電 話
21	交 通	8月 25日 17時 21分	菰野 (菰野第三区)	報 知 電 話
22	交 通	8月 27日 6時 04分	鶴川原 (吉沢)	報 知 電 話
23	交 通	9月 22日 17時 52分	千 種 (千草)	加 入 電 話
24	その他 (山岳)	9月 30日 11時 49分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
25	その他 (山岳)	10月 10日 10時 18分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
26	その他 (山岳)	10月 11日 12時 26分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
27	その他 (山岳)	10月 29日 9時 51分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
28	その他 (山岳)	10月 30日 8時 03分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
29	その他 (山岳)	11月 6日 10時 06分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話
30	その他 (山岳)	11月 8日 12時 07分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
31	その他 (山岳)	11月 9日 8時 30分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
32	その他 (山岳)	11月 12日 16時 20分	菰野 (湯の山)	加 入 電 話
33	その他 (山岳)	11月 23日 11時 35分	千 種 (千草)	報 知 電 話
34	その他 (山岳)	11月 23日 14時 37分	菰野 (湯の山)	報 知 電 話
35	その他 (山岳)	11月 26日 10時 12分	千 種 (千草)	報 知 電 話
36	交 通	12月 27日 18時 08分	竹 永 (竹成)	報 知 電 話

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)  
 加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	鎌ヶ岳三ツ口谷登山口付近を下山中に滑落した	出動途上で要救助者が自力下山完了の情報が入り帰署した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車 ポンプ車	3 3 3 2	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の3名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、介添えにて1名ずつ車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	自動車の単独事故で、1名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、抱きかかえて車外に救出した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、それぞれの車の1名ずつが自力脱出困難となった	先着の救急隊が救出し、救助隊は救急隊の活動支援を行った
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	4 2 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	ドアを破壊して車内へ侵入し、要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	5 3	自動車の単独事故で、1名が自力脱出困難となった	要救助者にバックボードを使用した全身固定を行い、車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を登山中に転倒した	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車 救急1号車	4 3	武平峠付近を登山中に滑落した	要救助者に頸椎固定を行いバスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道を登山中に転倒した	介添えにて登山口まで救出した
	広報車 救急2号車	4 3	御在所岳中道を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	御在所岳中道を登山中に体に力が入らない状態になった	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	御在所岳大黒岩付近で頭部負傷し、意識が無い状態で発見された	天候不良により、ヘリコプター及び救助隊での救出が困難であると判断し、後日救助を行うものとして帰署した
	広報車 防災広報車	4 2	救助No.30の要救助者への再救助	バスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
	広報車 資機材搬送車 救急1号車	4 2 3	御在所岳中道を登山中に体に力が入らない状態になった	介添えにて登山口まで救出した
	広報車 救急1号車	4 3	木登り中に3mの高さから転落した	バスケット担架に収容し、人力搬送にて救出した
	広報車	4	御在所岳裏道を下山中に一時的に意識を失った	防災航空隊が救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳庵座の滝付近を登山中に滑落した	防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三重県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急2号車	3 3	交差点内での自動車同士の衝突事故で、横転した車の1名が自力脱出困難となった	ドアを開放して車内へ侵入し、介添えにて車外に救出した

## 事故種別出場件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
出 場 件 数			13							23	36	32
救 助 人 員			13							17	30	20

## 事故種別・救助出場人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			49							95	144	133
消 防 隊 員			15								15	
救 急 隊 員			51							29	80	54
合 計			115							124	239	187

## 事故種別・救助出場車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	28 年 合 計	27 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			13							3	16	14
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			6								6	
救 急 車			17							10	27	18
指 揮 車												1
広 報 車										19	19	18
資 機 材 搬 送 車										1	1	1
そ の 他 の 車 両										2	2	
合 計			36							35	71	52

※その他の車両とは、査察車と防災広報車

# 気象



大雨による水害に備えるため、河川の越水危険が迫った場合を想定し、地域住民・消防団・関係機関等が合同で積み土のう工法の訓練を実施しました。

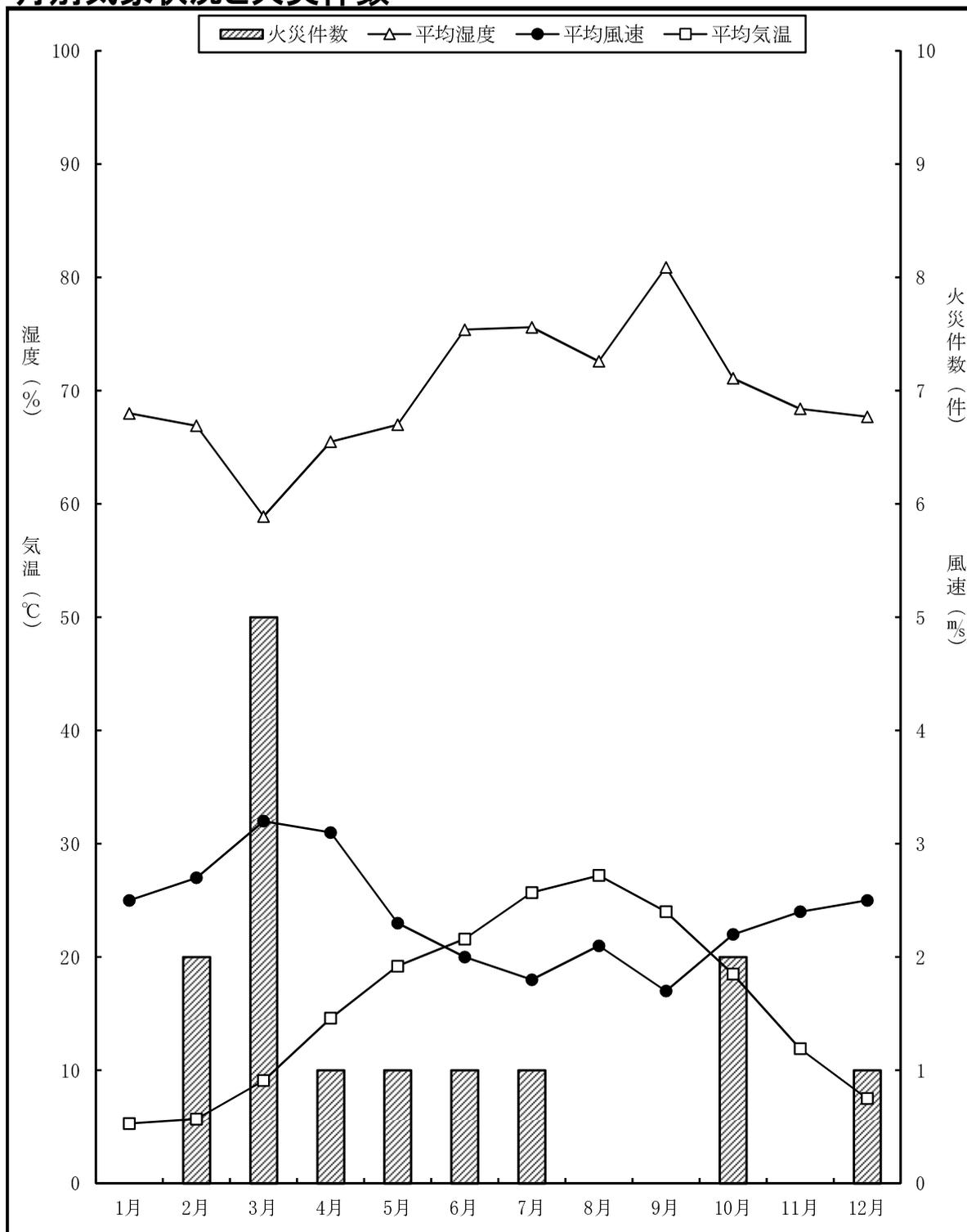
菰野町水防訓練

平成28年5月31日  
於：三滝川河川敷

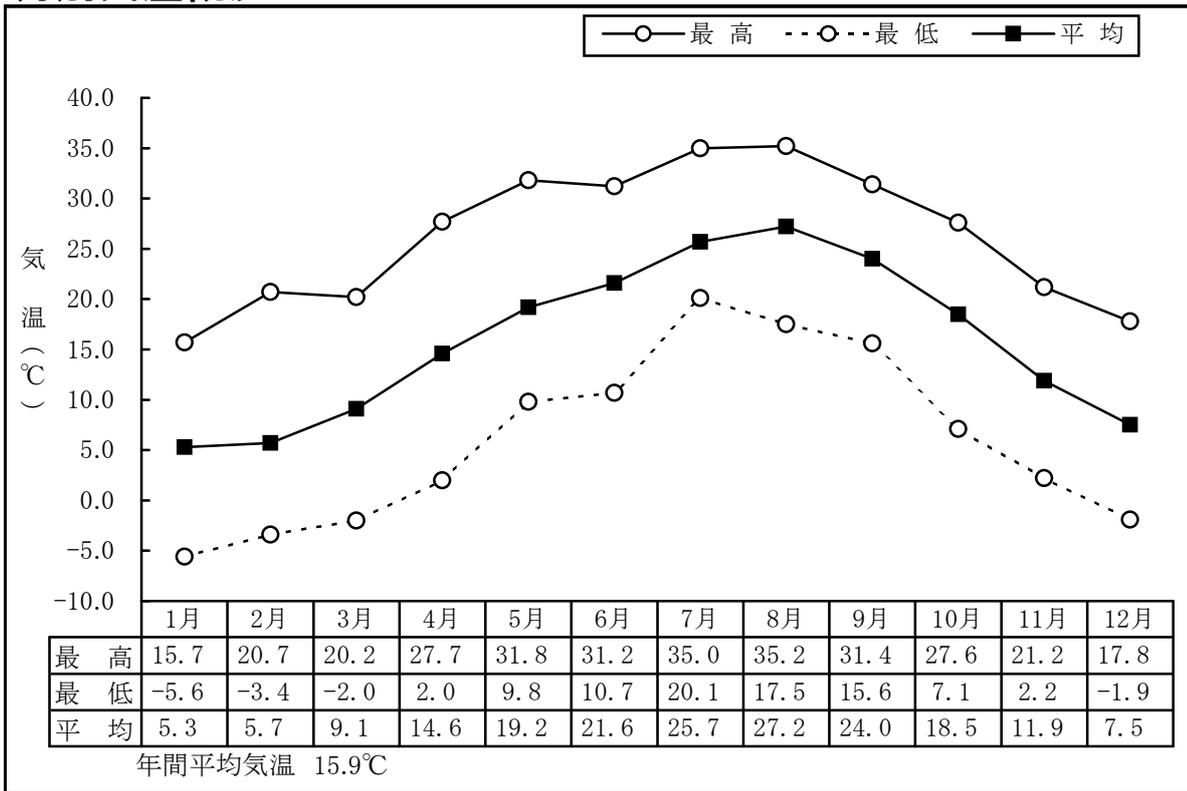
## 気象

開署以来、気象観測システムによる1時間毎の自動定時観測（風速・気温・湿度・降水量等）を行い日報・月報記録の作成を続けています。また台風、豪雨や警報発表時には定時以外においても必要に応じた観測体制をとっています。

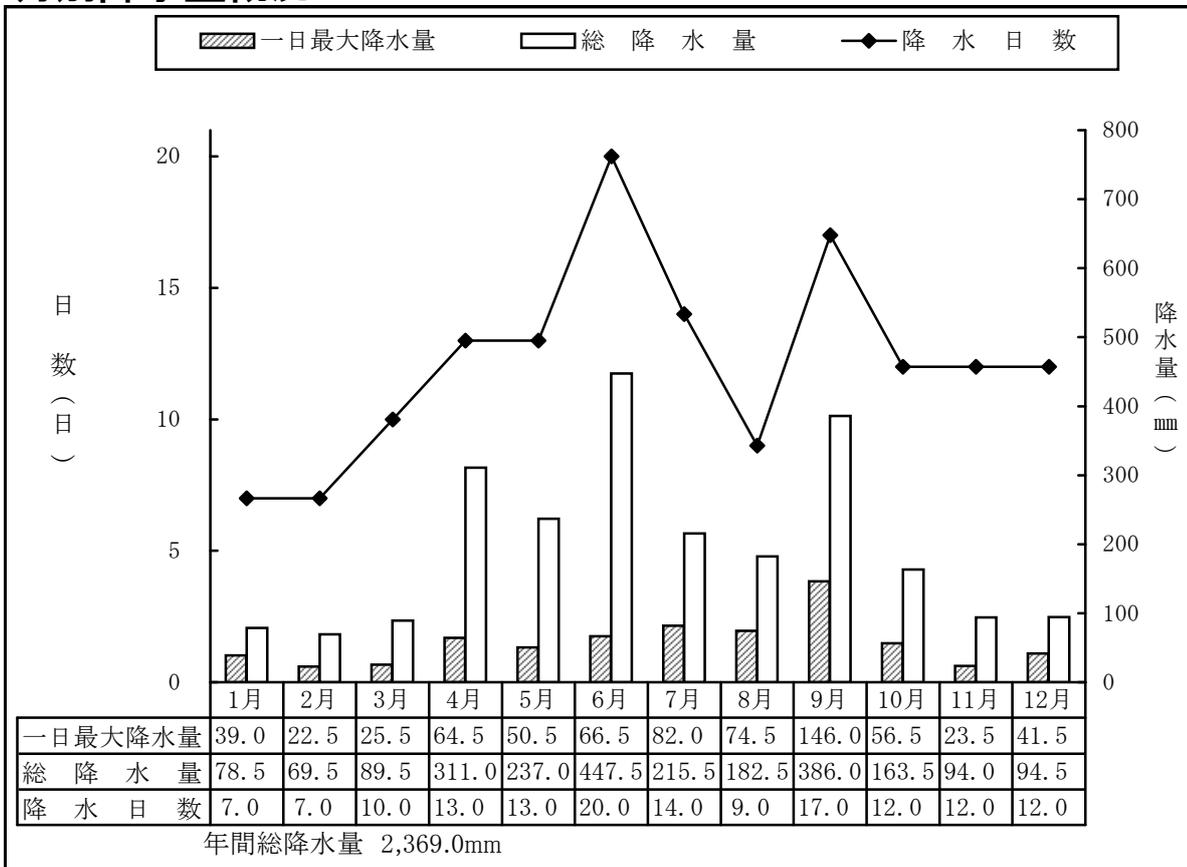
### 月別気象状況と火災件数



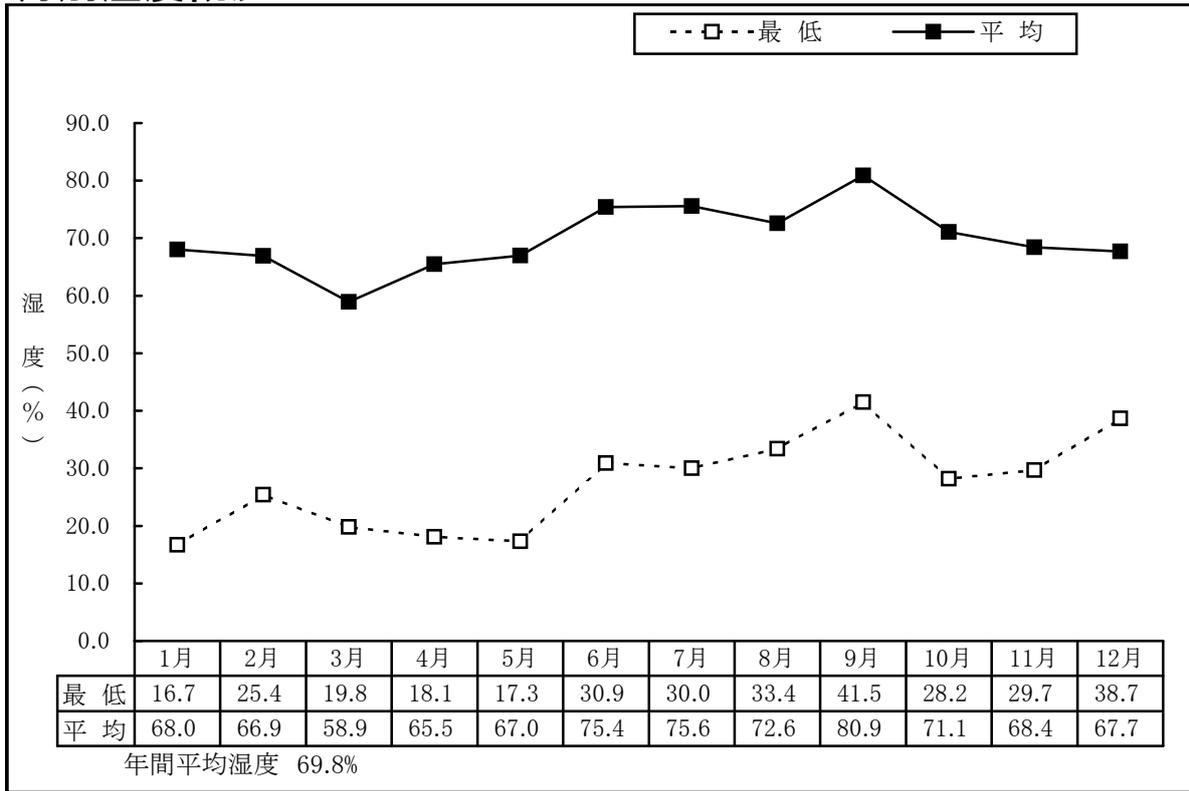
## 月別気温概況



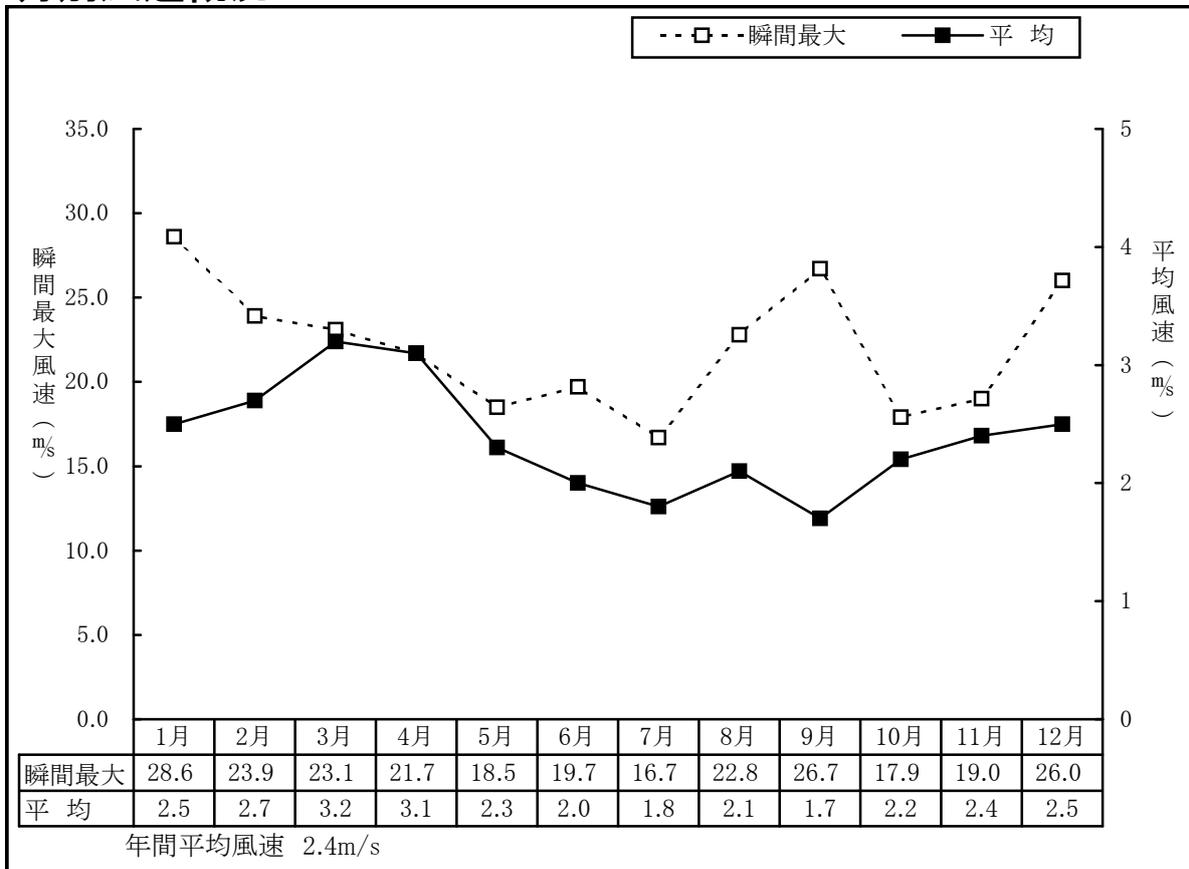
## 月別降水量概況



## 月別湿度概況



## 月別風速概況



# 気象通報受信状況

気象通報			月 別												合計		
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
特別警報	気象	暴風															
	特別警報	暴風雪															
	特別警報	大雨															
	特別警報	大雪															
警報	気象	暴風															
	警報	暴風雪															
	警報	大雨									2	1				3	
	警報	洪水									2	1				3	
注意報	気象	大雨		1		1	1	5	3	11	8	1				31	
	注意報	大雪	2	1	1											4	
	注意報	強風	1													1	
	注意報	雷	2	4	3	6	3	7	12	14	12	8	3	3		77	
	注意報	融雪	2	1							1		1			5	
	注意報	濃霧				3	1				1	3	2			10	
	注意報	乾燥		3	4	2	3	1				1				14	
	注意報	なだれ															
	注意報	低温	2	1													3
	注意報	霜				13	1										14
	注意報	着氷															
	注意報	着雪															
	注意報	洪水		1		1		2	3	11	6	1					25
高温注意情報									11	20						31	
竜巻注意情報				1					2	3		3		2		11	
火災気象通報			2	10	14	2	3	1					1	1		34	
気象情報	大雪に関する情報		5													5	
	大雪と高波及び強風に関する情報		4													4	
	雷と高波及び強風に関する情報		1													1	
	大雨に関する情報				2					2	8	2				14	
	大雨と雷及び突風に関する情報							4	5	4	4					17	
	雷と突風及び降ひょうに関する情報							1	2							3	
	大雨と高波及び強風に関する情報		2													2	
	大雨と高波及び突風に関する情報		1													1	
	雷と突風に関する情報		3					1			3	2	1	2		12	
	雷と強風及び高波に関する情報						4									4	
	雷及び突風に関する情報										1					1	
	大雨と雷に関する情報										1					1	
	台風第9号に関する情報									5						5	
台風第13号に関する情報										6					6		
台風第16号に関する情報										8					8		
台風第18号に関する情報											6				6		
土砂災害警戒情報(菰野町)																	

注1) 同一種類の注意報・警報を継続する場合に発表された注意報・警報は回数に含めない。  
 注2) 注意情報及び、気象情報については三重県を対象に発表された回数を示す。  
 注3) 火災気象通報は、三重県北部を対象に発表された回数を示す。  
 注4) 特別警報・警報・注意報・土砂災害警戒情報は、菰野町を対象に発表された回数を示す。

平成29年版  
消 防 年 報

発 行 日 平成29年 8月

編集・発行 菰野町消防本部

〒510-1253

三重県三重郡菰野町大字潤田4418番地

電 話 (059) 394-3211

F A X (059) 394-5766

E-mail [komonofd@m3.cty-net.ne.jp](mailto:komonofd@m3.cty-net.ne.jp)